

## 河川事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	吉井川 <sup>よしがわ</sup> 総合水系環境整備事業		
実施箇所	吉井川直轄管理区間内		
当該基準	再評価実施後一定期間（3年）が経過している事業		
事業諸元	<p>【自然再生】</p> <p>① 瀬戸<sup>せと</sup>箇所 [H18～H26（予定）] 産卵場整備、堤外水路整備</p> <p>【水辺整備】</p> <p>② 西大寺<sup>さいだいじ</sup>箇所(上流) [計画] 坂路、河川管理用通路</p> <p>③ 田原<sup>たわら</sup>箇所 [計画] 護岸、高水敷整正、階段</p>		
事業期間	平成18年度～平成29年度		
総事業費	7.2億円	残事業費	3.2億円
目的・必要性	<p>吉井川水系は、岡山県東部に位置し、その源を岡山県苫田郡鏡野町の三国山（標高1,252m）に発し、奥津溪を抜けた後、津山盆地を東流し、津山市で香々美川、加茂川等の支川を合わせた後、吉備高原の谷底平野を南流、赤磐市で吉野川、和気郡和気町で金剛川等の支川を合わせ岡山平野を流下し、岡山市西大寺で児島湾の東端に注ぐ、幹川流路延長133km、流域面積2,110km<sup>2</sup>の一級河川である。</p> <p>流域内の下流部では早くから文化が開け、奈良時代から平安時代にかけて旺盛な開拓が展開され、また、津山と岡山を結ぶ高瀬舟の利用とあいまって地方有数の河港として繁栄する等、吉井川は地域の文化、経済の発展を支えてきた。</p> <p>吉井川の河川敷には、数多くのスポーツ施設や公園が整備されており、多くの市民にスポーツや散策に利用されている。</p> <p>【自然再生】</p> <p>《瀬戸箇所》</p> <p>国の天然記念物である「アユモドキ」は、かつて岡山県内に広く生息していたが、近年著しく減少している。減少の要因として、隠れ家の減少、工作物による移動の妨げ、外来種による捕食など、アユモドキの生息環境の悪化が考えられる。そこで、産卵場や移動経路の整備によって、アユモドキの生息・繁殖環境の改善を図る。</p> <p>【水辺整備】</p> <p>《西大寺箇所(上流)》</p> <p>西大寺箇所(上流)では、堤防天端は交通量が多くなっており、河川管理用通路がなく、坂路も少ないため、安全に水辺を利用することができない状況である。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、坂路、河川管理用通路の整備を行う。</p> <p>《田原箇所》</p> <p>田原箇所は、雑草や雑木が繁茂し河川敷に下りる階段や通路もないため安全に水辺を利用することができない状況である。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸、階段の整備を行う。</p>		
便益の主な根拠	<p>【自然再生】</p> <p>支払い意志額 = 256円/世帯/月、受益世帯数 = 29,655世帯</p> <p>【水辺整備】</p> <p>年間利用者数の増加 = 448,338人</p>		

事業全体の投資効率性	基準年度		平成24年度				
			B:総便益 (億円)	C:総費用 (億円)	B/C	B-C (億円)	EIRR (%)
	全体事業	総合水系環境整備事業	65.4	7.5	8.8	57.9	27
		(自然再生)	21.5	4.9	4.4	16.6	20
		(水辺整備)	43.9	2.6	17.2	41.3	69
	残事業	総合水系環境整備事業	46.1	3.1	14.9	43.0	54
		(自然再生)	2.2	0.5	4.1	1.6	20
		(水辺整備)	43.9	2.6	17.2	41.3	69
事業の効果等	<p>【自然再生】 《瀬戸箇所》 ・アユモドキの生息・繁殖環境の改善を行うことにより、種の保全を図る。</p> <p>【水辺整備】 《西大寺箇所(上流)》 ・坂路や河川管理用通路の整備を行うことにより、河川管理機能の向上、散策等の日常利用の他、安全に水辺の利用ができるようになる。</p> <p>《田原箇所》 ・高水敷整正、護岸や階段の整備を行うことにより、河川管理機能の向上と、安全な水辺の利用が可能となる。</p>						
社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉井川流域の人口は岡山市において増加傾向が見られるが、その他の市町については緩やかな減少傾向が続いている。</li> <li>整備箇所は地域イベント等が行われ、多くの住民に利用されているとともに、地域が主体となった「吉井川一斉清掃」が行われているなど、住民の吉井川に対する関心は高いものとなっている。</li> </ul>						
事業の進捗状況	<p>【自然再生】 《瀬戸箇所》 ・事業の進捗率は88%である。</p> <p>【水辺整備】 《西大寺箇所(上流)》《田原箇所》 ・計画段階であり事業の進捗率は0%である。</p>						
事業の進捗の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>《瀬戸箇所》 瀬戸箇所においては「吉井川瀬戸地区自然再生協議会」の中で、専門家、地域住民の意見を取り入れながら事業を実施しており特に問題はない。</li> <li>《西大寺箇所(上流)》《田原箇所》 地域の河川利用に資する水辺環境整備の要望は強く、地域計画や地域からの意見を取り入れながら、協力体制を確立し事業を実施していく予定であり、特に問題はない。</li> </ul>						
コスト縮減や代替案立案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>瀬戸箇所においては、「吉井川瀬戸地区自然再生協議会」の中での専門家、地域住民の意見を取り入れながら、事業を実施している。</li> <li>西大寺箇所(上流)、田原箇所の整備にあたっては、伐採木の無料配付を行い、コスト縮減に努める。</li> <li>事業の進捗状況、費用対効果を鑑み、継続実施が妥当であり、現状での代替案を検討する必要はないと考えている。</li> </ul>						
対応方針(原案)	継続						
対応方針理由	<p>以上から、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、事業継続が妥当である。</p> <p>今後の事業実施にあたっては、地域との協力体制を確立するとともに、新技術・新工法等を活用し、コスト縮減に引き続き取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。</p>						
その他							

## 河川事業のフォローアップ項目調書

事業名（箇所名）	よしいがわ 吉井川総合水系環境整備事業
実施箇所	吉井川直轄管理区間内
当該基準	事業（箇所）完了後5年以内の事業
事業諸元	<p>【水辺整備】</p> <p>① 新地箇所 [H13～14 年度] 水制工、護岸、階段、坂路、高水敷整正</p> <p>② 西大寺箇所(下流) [H18 年度] 河川管理用通路、坂路、階段、高水敷整正</p> <p>③ 豆田箇所 [H13～15 年度] (国)護岸、階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正 (自)トイレ、遊具</p> <p>④ 瀬戸箇所(下流) [H12～14 年度] (国)護岸、高水敷整正 (自)東屋、トイレ</p> <p>⑤ 熊山箇所 [H16～17 年度] 階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正</p>
事業期間	平成 12 年度～平成 18 年度
総事業費	8.2 億円（国土交通省事業分）、1.8 億円（自治体整備分）
目的・必要性	<p>吉井川水系は、岡山県東部に位置し、その源を岡山県苫田郡鏡野町の三国山（標高 1,252m）に発し、奥津溪を抜けた後、津山盆地を東流し、津山市で香々美川、加茂川等の支川を合わせた後、吉備高原の谷底平野を南流、赤磐市で吉野川、和気郡和気町で金剛川等の支川を合わせ岡山平野を流下し、岡山市西大寺で児島湾の東端に注ぐ、幹川流路延長 133km、流域面積 2,110km<sup>2</sup> の一級河川である。</p> <p>流域内の下流部では早くから文化が開け、奈良時代から平安時代にかけて旺盛な開拓が展開され、また、津山と岡山を結ぶ高瀬舟の利用とあいまって地方有数の河港として繁栄する等、吉井川は地域の文化、経済の発展を支えてきた。</p> <p>吉井川の河川敷には、数多くのスポーツ施設や公園が整備されており、多くの市民にスポーツや散策に利用されている。</p> <p>【水辺整備】</p> <p>《新地箇所》 新地箇所の整備前は、水際部において護岸が急勾配なため、水際部に近づくことができず、安全に水辺を利用することができない状況であった。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、水制工、護岸、階段、坂路の整備を行った。</p> <p>《西大寺箇所(下流)》 西大寺箇所(下流)の整備前は、雑木や雑草の繁茂、高水敷の不陸により、上下流の高水敷が遮断され、高水敷の連続性が確保されておらず、上下流にそれぞれ整備されている河川公園も単一的な利用になっていた。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、河川管理用通路、坂路、階段を整備し、上下流の公園の連続性も確保した。</p> <p>《豆田箇所》 豆田箇所の整備前は、雑木や雑草の繁茂、高水敷の不陸により、水際部に近づくことができず、安全に水辺を利用することができない状況であった。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸、階段、坂路、河川管理用通路の整備を行った。</p> <p>《瀬戸箇所(下流)》 瀬戸箇所(下流)の整備前は、雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができない状況であった。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸の整備を行</p>

目的・必要性	<p>った。</p> <p>《熊山箇所》 熊山箇所の整備前は、雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができない状況であった。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、階段、坂路、河川管理用通路の整備を行った。</p>						
便益の主な根拠	<p>【水辺整備】 年間利用者数の増加 = 384,733 人</p>						
費用対効果分析の算定根拠となった要因の変化	総合水系環境整備事業	事業費	予定工期			便益計測手法	
	当初	—	—			—	
	事後	1,004 百万円	平成 12 年度～平成 18 度			TCM	
		B:総便益(億円)	C:総費用(億円)	B/C	B-C(億円)	EIRR(%)	基準年度
	当初	—	—	—	—	—	—
	事後	53.8	17.0	3.2	36.8	14.6	平成 24 年度
事業効果の発現状況	<p>【水辺整備】</p> <p>《新地箇所》 ・ 散策等の日常利用の他、レクリエーション等に利用されている。また、砂浜では、吉井川フェスタ等、様々なイベントが実施されている。</p> <p>《西大寺箇所(下流)》 ・ 散策等の日常利用の他、釣り等のレクリエーション等に利用されている。</p> <p>《豆田箇所》 ・ 散策等の日常利用の他、キャンプ等のレクリエーションに利用されている。</p> <p>《瀬戸箇所(下流)》 ・ 散策等の日常利用の他、水面を利用したスポーツやレクリエーション等に利用されている。平成 17 年には第 60 回国民体育大会(岡山大会)のカヌー競技が行われた。</p> <p>《熊山箇所》 ・ 地元小学校の環境学習などに利用されている。また、散策等の日常利用の他、レクリエーション等に利用されている。</p>						
事業実施による環境の変化	<p>・ 特になし。</p>						
社会経済情勢の変化	<p>・ 吉井川流域の人口は岡山市において増加傾向が見られるが、その他の市町については緩やかな減少傾向が続いている。</p> <p>・ 整備箇所では、スポーツ利用、地域イベント等が行われ、多くの住民に利用されているとともに、地域が主体となった「吉井川一斉清掃」が行われているなど、住民の吉井川に対する関心は高いものとなっている。</p>						
今後の事後評価の必要性	<p>本事業は十分な事業効果を発揮しており、今後とも地域住民等による多様な水辺の利用が見込まれることから、改めて事後評価に準ずるフォローアップを実施する必要はない。</p> <p>今後は、河川水辺の国勢調査(空間利用実態調査)などを活用して、継続的に事業効果の発現について追跡調査を行う。</p>						
改善措置の必要性	<p>事業目的に見合った事業効果の発現が確認されたことから、今後の改善措置の必要性はない。</p>						
対応方針(原案)	<p>本事業は十分な事業効果を発揮しており、今後とも地域住民等による多様な水辺の利用が見込まれることから、改めて事後評価に準ずるフォローアップを実施する必要はない。</p> <p>また、事業目的に見合った事業効果の発現が確認されたことから、今後の改善措置の必要性はない。</p>						



# 吉井川総合水系環境整備事業

再評価・事後評価に準ずるフォローアップ

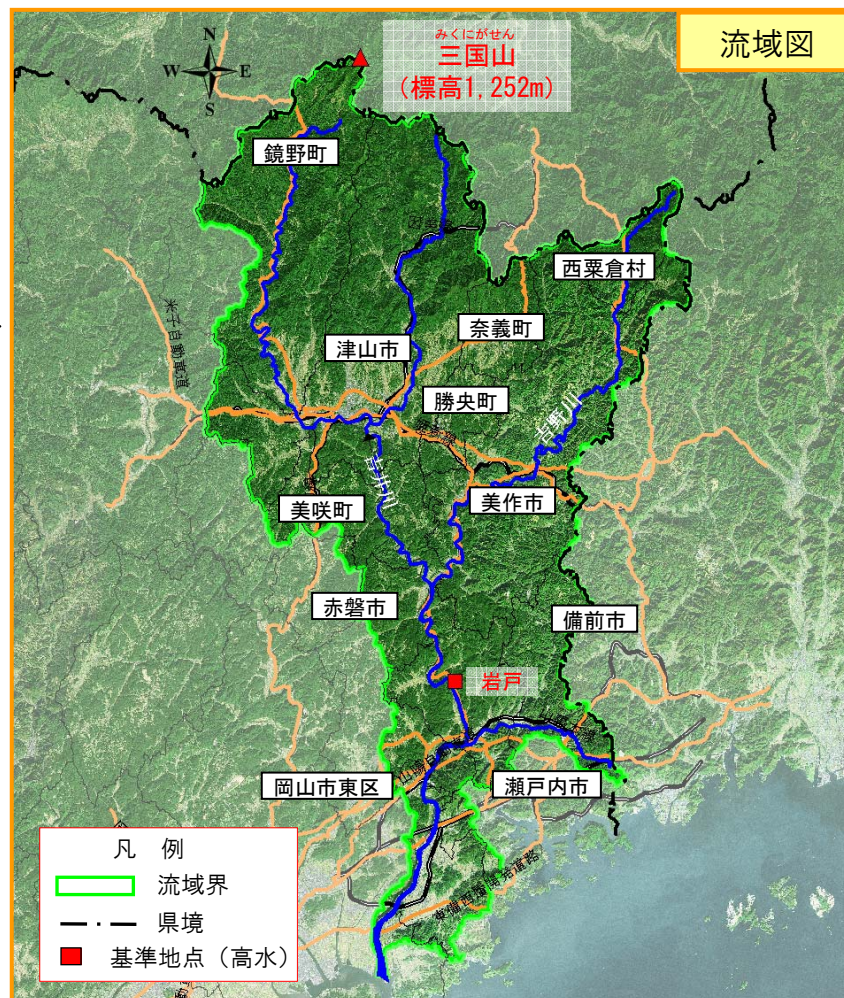
平成24年9月26日  
国土交通省 中国地方整備局

# 1. 流域の概要

- 吉井川水系は、岡山県東部に位置し、その源を岡山県苫田郡鏡野町の三国山（標高1,252m）に発し、奥津溪を抜けた後、津山盆地を東流し、津山市で香々美川、加茂川等の支川を合わせた後、吉備高原の谷底平野を南流、赤磐市で吉野川、和気郡和気町で金剛川等の支川を合わせ岡山平野を流下し、岡山市西大寺で児島湾の東端に注ぐ、幹川流路延長133km、流域面積2,110km<sup>2</sup>の一級河川である。
- 流域内の下流部では早くから文化が開け、奈良時代から平安時代にかけて旺盛な開拓が展開され、また、津山と岡山を結ぶ高瀬舟の利用とあいまって地方有数の河港として繁栄する等、吉井川は地域の文化、経済の発展を支えてきた。
- 吉井川の河川敷には、数多くのスポーツ施設や公園が整備されており、多くの市民にスポーツや散策に利用されている。

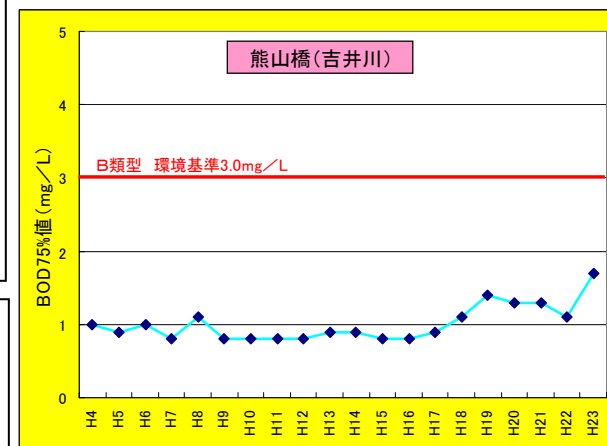
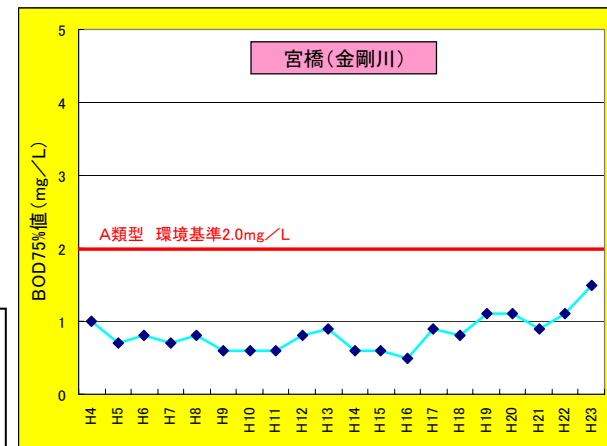


【吉井川水系の諸元】  
流域面積 : 2,110km<sup>2</sup>  
幹川流路延長 : 133km  
山地面積比率 : 約72%  
流域内人口 : 約28.5万人



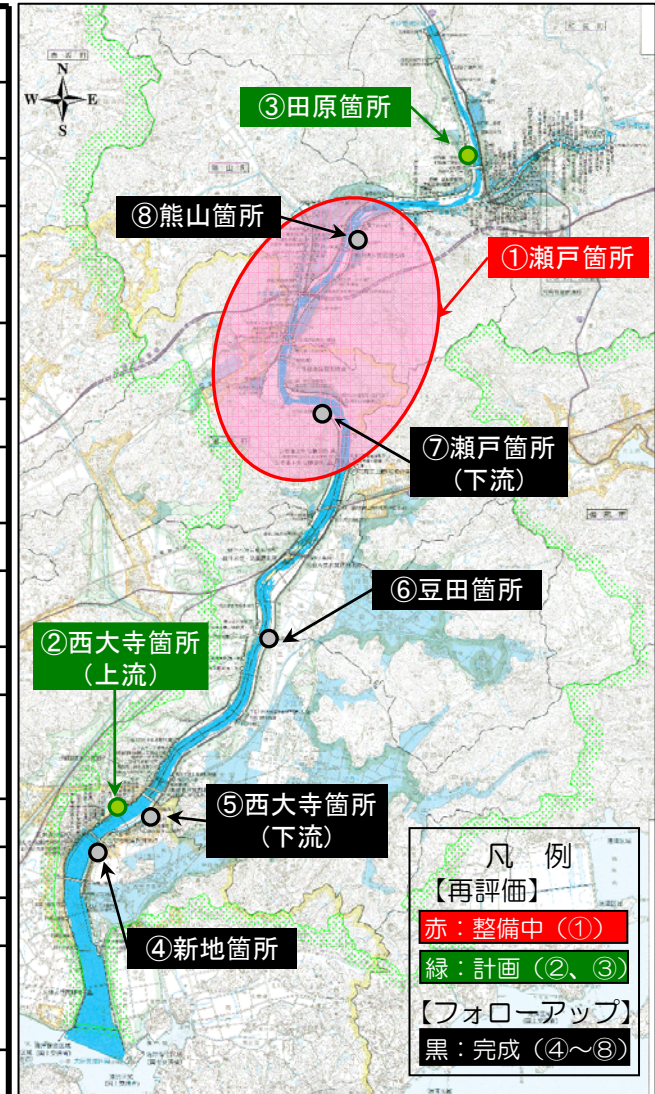
## 2. 吉井川の河川環境に関する現状と課題及び利用状況

- 吉井川では、河川公園や水辺の楽校が整備され、水遊びやデイキャンプなどの市民の憩いの場やスポーツ活動をはじめとした各種イベントの開催等に利用されている。
- しかし河川敷の幅広い利用が見られる一方で、樹木等の繁茂や河川敷への階段・坂路等がなく水辺に近づきにくい箇所がある。
- 吉井川の水質は、水質汚濁の代表指標であるBOD75%について見ると、各地点において環境基準を満足しており、ほぼ全域でA類型相当の水質を有している。



# 3. 事業内容

区分	No.	河川名	事業名	市町	事業年度	事業内容	事業費 (百万円)
再評価	①	吉井川	せと瀬戸箇所	岡山市	H18~26 (予定)	・産卵場整備、堤外水路整備	445
	②	吉井川	さいだいじ西大寺箇所 (上流)	岡山市	計画	・坂路、河川管理用通路	160
	③	吉井川	たわら田原箇所	和気町	計画	・護岸、高水敷整正、階段	111
フォローアップ	④	吉井川	しんち新地箇所	岡山市	H13~14	・水制工、護岸、階段、坂路、高水敷整正	142
	⑤	吉井川	さいだいじ西大寺箇所 (下流)	岡山市	H18	・河川管理用通路、坂路、階段、高水敷整正	80
	⑥	吉井川	まめだ豆田箇所	瀬戸内市	H13~15	・護岸、階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正	200
	⑦	吉井川	せと瀬戸箇所 (下流)	岡山市	H12~14	・護岸、高水敷整正	290
	⑧	吉井川	くまやま熊山箇所	赤磐市	H16~17	・階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正	110
							0



赤字：整備中    緑字：計画    黒字：整備済

上段：国土交通省整備  
 下段：地元自治体整備



# 4-1. 整備内容（再評価）

## ①【自然再生】 <sup>せと</sup>瀬戸箇所（整備中）

整備目的：産卵場や移動経路の整備を行うことにより、アユモドキの生息・繁殖環境の改善を図る。

現状と課題：国の天然記念物である「アユモドキ」は、かつて岡山県内に広く生息していたが、近年著しく減少している。吉井川は全国で初めて自然産卵場所が特定され、辛うじて維持されている生息環境を、専門家や地域が一体となって保全する取り組みが行われている。減少の要因として、隠れ家の減少、工作物による移動の妨げ、外来種による捕食など、アユモドキの生息環境の悪化が考えられる。

整備内容：産卵場整備、堤外水路整備

事業費：445百万円



アユモドキはドジョウのなかまで、形や色がアユに似ていることから、この名前がついた。  
琵琶湖淀川水系と岡山県の旭川・吉井川水系だけに分布する種です。

整備前の状況



隠れ家の減少

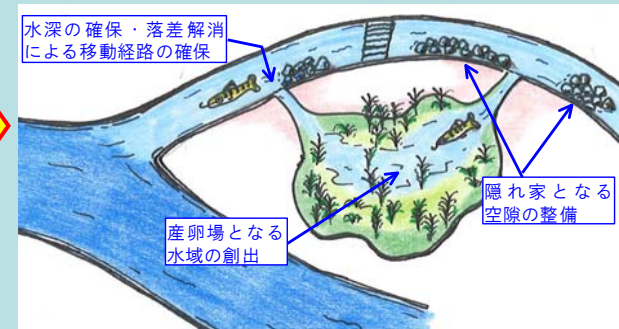


工作物による移動の妨げ



外来種による捕食

整備後のイメージ



# 4-1. 整備内容（再評価）

## ②【水辺整備】 さいだいじ 西大寺箇所(上流)（計画）

整備目的：河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、坂路、河川管理用通路の整備を行う。

現状と課題：西大寺箇所(上流)の周辺には、生活拠点となる施設や観光・レジャーの拠点が集中しており、河川も街づくりの一部を担っている。しかし、堤防天端は交通量が多くなっており、河川管理用通路がなく、坂路も少ないため、安全に水辺を利用することができない状況である。

整備内容：坂路、河川管理用通路

事業費：160百万円



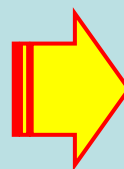
整備箇所の状況

平成24年5月撮影

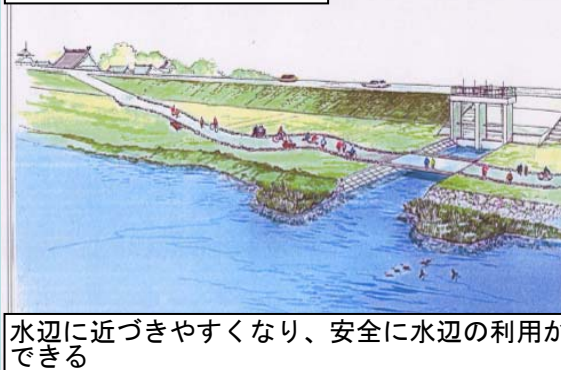


整備箇所近景

平成24年5月撮影



整備後の状況(イメージ)



# 4-1. 整備内容（再評価）

## ③【水辺整備】 <sup>たわら</sup> 田原箇所（計画）

整備目的：河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸、階段の整備を行う。

現状と課題：田原箇所周辺には、桜つつみ堤防、グラウンドが整備されており、日常から河川利用の盛んな場所となっている。また、田原箇所からは伝統行事である和文字焼きを観覧することができ、多くの人々が高水敷を利用している。しかし、雑草や雑木が繁茂し河川敷に下りる階段や通路もないため安全に水辺を利用することができない状況である。

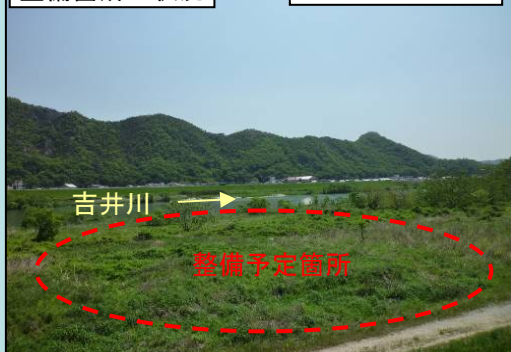
整備内容：護岸、高水敷整正、階段

事業費：111百万円



整備箇所の状況

平成24年5月撮影



整備箇所近景

平成24年5月撮影



整備後の状況(イメージ)



## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

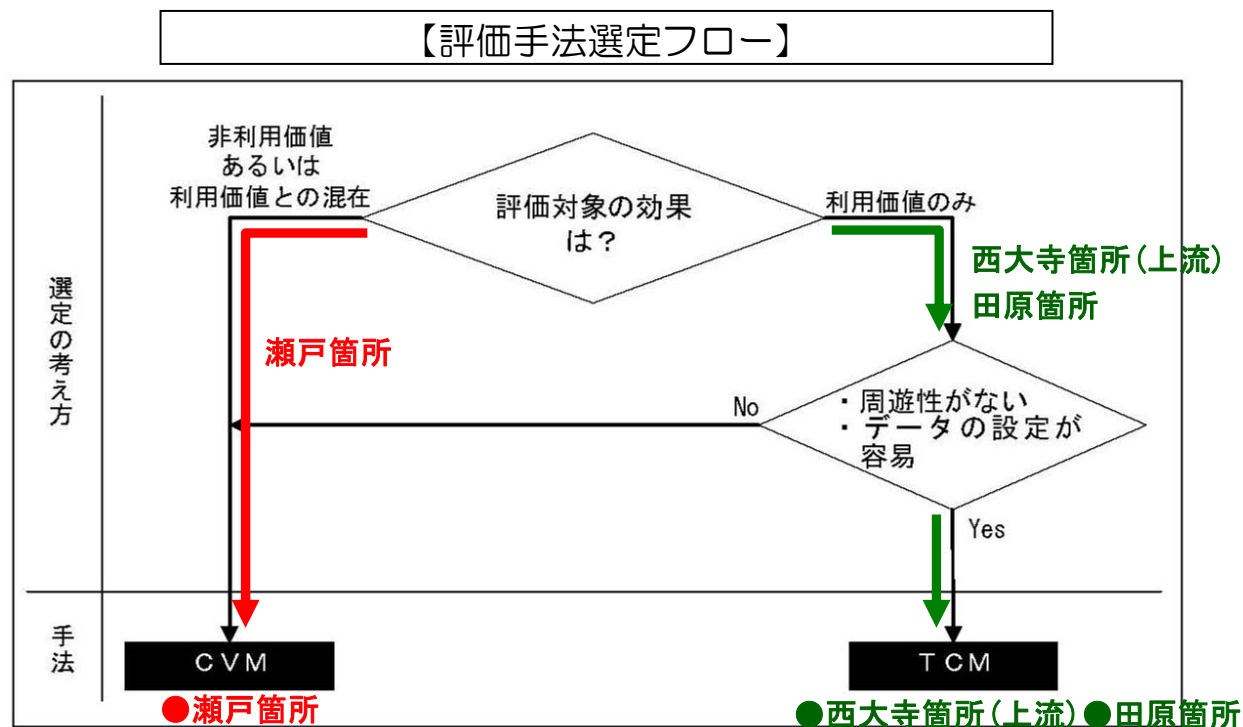
### ■ 評価手法の選定

- 「河川に係る環境整備の経済評価の手引き」に明示されている経済評価手法はCVM、TCM、代替法等があり、事業の効果を踏まえ適切に選定する必要がある。

出典) 河川に係る環境整備の経済評価の手引き, 国土交通省河川局 (H22.3)

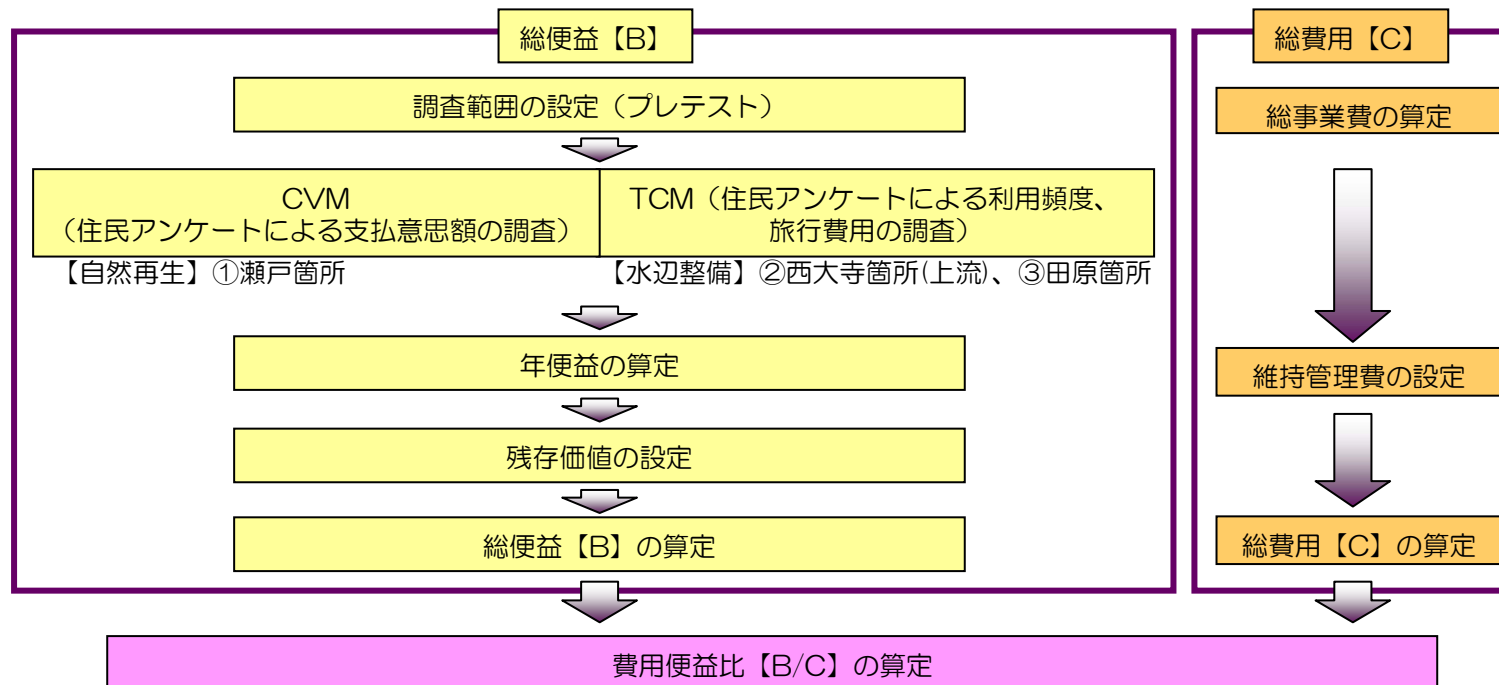
- 瀬戸箇所については、評価対象の効果が非利用価値であるためCVMを適用する。

- 西大寺箇所(上流)、田原箇所については利用価値が主となることからTCMを適用する。



## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

### (1) 費用便益比（B/C）算定の流れ



### (2) 便益の計測

「河川に係る環境整備の経済評価の手引きH22.3」に基づき、評価を行った。

◆CVM（仮想市場法）の場合

⇒**便益**＝**支払意思額（WTP）**×**集計世帯数**×**評価期間（事業完成後50年間）**

◆TCM（トラベルコスト法）の場合

⇒**利用頻度、旅行費用の需要曲線を推定し、便益を計測する。**

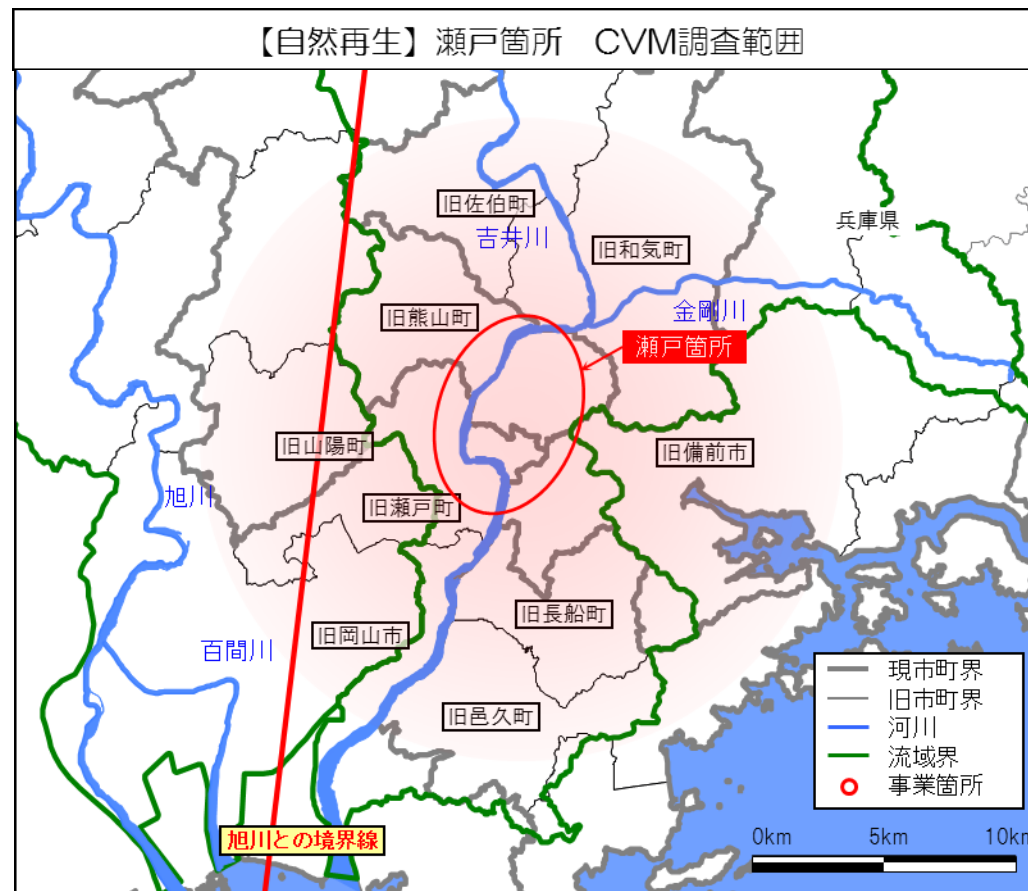
## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

### （3-1）調査範囲（アンケート配布範囲＝便益集計範囲）の設定

アンケート配布範囲（便益集計範囲）を下記のとおり設定。

#### ■【自然再生】瀬戸箇所 CVM調査範囲

プレテスト結果より、吉井川の認識の割合が高い事業箇所から半径10km圏内をアンケート調査範囲に設定する（旭川との境界線より西側を除く）。



#### ○対象市町（事業箇所から10km圏内）

岡山市東区（旧岡山市、旧瀬戸町）、備前市（旧備前市）、瀬戸内市（旧長船町、旧邑久町）、赤磐市（旧熊山町、旧山陽町）、和気町（旧和気町、旧佐伯町）

## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

### (3-2) CVM（住民アンケートによる支払意思額の調査）

#### C V M

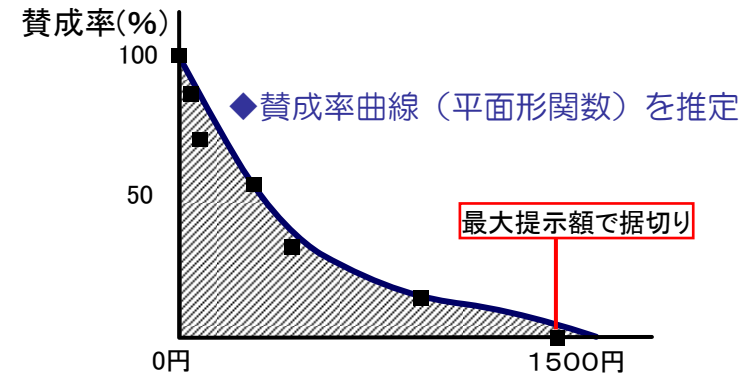
- 郵送によるアンケートを実施。
- 当事業を実施することによる効果を提示し、整備を行うための支払い意思額（WTP）を問う。
- 得られた有効回答から、当事業の支払い意思額（WTP）を求め。
- 年便益は「WTP×12ヶ月×受益世帯数」により算定。

		配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率	抵抗回答数	無効回答数
瀬戸箇所	郵送	2000	882	44.1%	521	59.1%	172	189

事業を実施した場合と実施しない場合の効果を提示し、毎月いくら支払っても良いと思うか質問する

（回答記入例）

負担金の金額	回答欄	
1. 月に50円(年間600円)ならば、	① 賛成する	2. 反対する
2. 月に100円(年間1,200円)ならば、	① 賛成する	2. 反対する
3. 月に200円(年間2,400円)ならば、	① 賛成する	2. 反対する
4. 月に300円(年間3,600円)ならば、	① 賛成する	2. 反対する
5. 月に500円(年間6,000円)ならば、	1. 賛成する	② 反対する
6. 月に700円(年間8,400円)ならば、	1. 賛成する	② 反対する
7. 月に1,000円(年間12,000円)ならば、	1. 賛成する	② 反対する
8. 月に1,500円(年間18,000円)ならば、	1. 賛成する	② 反対する



（アンケート結果）

- 【自然再生】（再評価）

支払い意思額（WTP）＝ 256円/月/世帯、受益世帯数 29,655世帯  
 年便益：91百万円（＝ 256円/月/世帯×12ヶ月×29,655世帯）

## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

### （4-1）調査範囲（アンケート配布範囲＝便益集計範囲）の設定 TCM

アンケート配布範囲（便益集計範囲）を下記のとおり設定。

■【水辺整備】西大寺箇所(上流) TCM調査範囲

プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。

■【水辺整備】田原箇所 TCM調査範囲

プレテスト結果より、利用が確認された5市2町をアンケート調査範囲に設定する。

【水辺整備】西大寺箇所(上流) TCM調査範囲



○対象市町（4市1町）

岡山市東区（旧岡山市、旧瀬戸町）、備前市（旧備前市）、瀬戸内市（旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町）、赤磐市（旧熊山町、旧山陽町）、和気町（旧和気町）

【水辺整備】田原箇所 TCM調査範囲



○対象市町（5市2町）

岡山市東区（旧岡山市、旧瀬戸町）、備前市（旧備前市、旧日生町、旧吉永町）、瀬戸内市（旧長船町、旧邑久町）、赤磐市（旧熊山町、旧山陽町、旧吉井町）、和気町（旧和気町、旧佐伯町）、美作市（旧英田町）、美咲町（旧柵原町）



## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

### （4-2） TCM（住民アンケートによる利用頻度、旅行費用の調査）

#### TCM（トラベルコスト法）

- アンケート調査結果から利用者の来訪距離別にゾーンを設定。
- アンケート調査結果から各ゾーンごとに交通手段別の利用頻度、旅行費用（トラベルコスト）を算定。
- 整備前後の需要関数を求め、その差分を年便益（消費者余剰）とする。
- 郵送によるアンケートを実施。

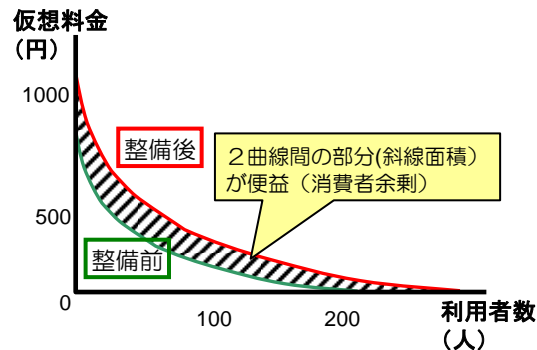
	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
西大寺箇所（上流）	1400	671	47.9%	526	78.4%
田原箇所	1400	664	47.4%	554	83.4%

#### 【利用実態を踏まえてゾーンを設定】



#### 【整備前後の消費者余剰（単年度便益）を算定】

西大寺箇所（上流）の例



西大寺箇所（上流）	ゾーン名	利用頻度（回/年）	旅行費用（円）	年便益（百万円）
整備前	1	2.83	66	93
	2	1.02	123	
	3	1.47	227	
	4	1.84	435	
整備後	1	7.19	66	240
	2	4.02	123	
	3	5.96	227	
	4	3.69	435	

◆ 利用頻度とトラベルコストの関数曲線を用いて、ゾーンごとに仮想料金を設定し仮想料金ごと利用者数を求め、各ゾーンの総和によって得られた値により需要曲線（需要関数）を推計

【水辺整備】（再評価）：年便益額 242百万円

#### ① 残存価値の設定

事業完成後50年経過時点での事業箇所の価値を算定。

#### ② 総便益の算定

事業完成後50年の年便益総和に社会的割引率（4%）を用い現在価値化したものに、残存価値を加えた値。

## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

### (5) 費用便益比（B/C）の算出方法

#### 【便益の整理】

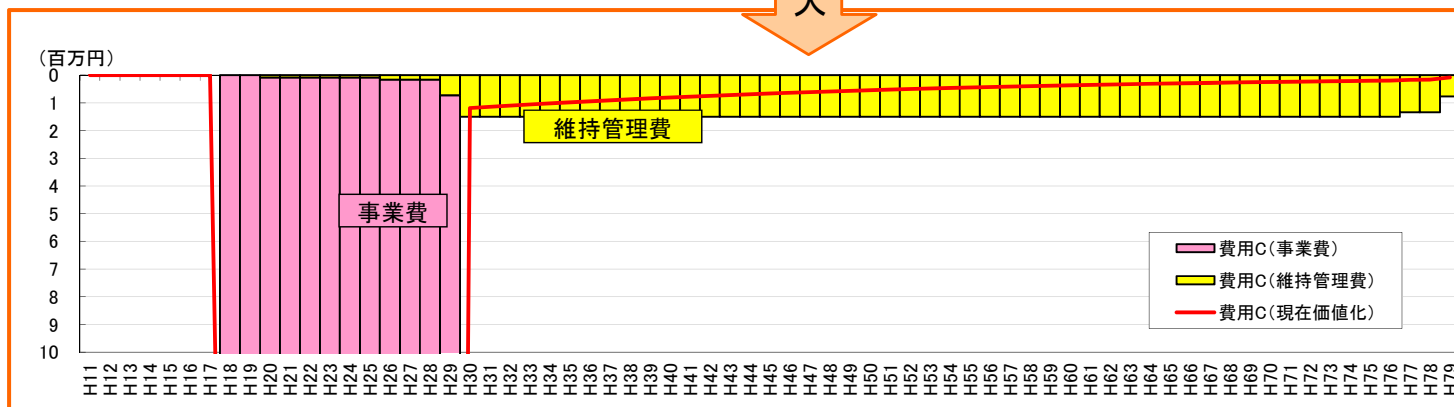
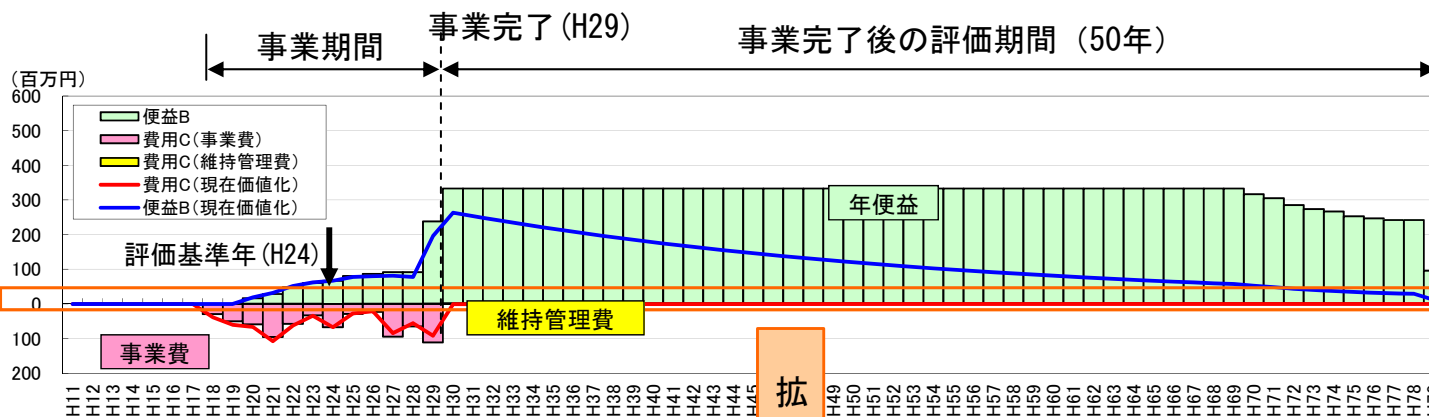
- ・評価期間中に発現する便益を社会的割引率（4%）で割り引いた上で集計
- ・評価期間後に生じる残存価値を算定

#### 【費用の整理】

- ・今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率（4%）によって割り引いた上で集計

【対象箇所】 自然再生：①瀬戸箇所  
水辺整備：②西大寺箇所(上流)、③田原箇所

項目	全体事業	残事業
便益（B1）	6,525百万円	4,597百万円
残存価値（B2）	12百万円	8百万円
総便益（B=B1+B2）	6,537百万円	4,605百万円
建設費（C1）	718百万円	280百万円
維持管理費（C2）	29百万円	28百万円
総費用（C=C1+C2）	747百万円	308百万円
費用便益比（B/C）	8.8	14.9



## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

### （6）費用対効果分析結果

評価期間を事業完成後50年間とし、現在価値化を行った。

#### ◇総便益

再評価	全体事業	残事業
・【自然再生】	2,149百万円	216百万円
・【水辺整備】	4,389百万円	4,389百万円
・【全体】	6,537百万円	4,605百万円

（※）総便益は、それぞれの年便益総和に社会的割引率（4%）を用い現在価値化したものに残存価値を加えた値。

#### ◇総費用

再評価	全体事業	残事業
・【自然再生】	491百万円	53百万円
・【水辺整備】	256百万円	256百万円
・【全体】	747百万円	308百万円

（※）総費用は、総事業費に50ヶ年の維持管理費を加え、社会的割引率（4%）を用い現在価値化した値。

（※）維持管理費は、実績を基に設定した。

#### ◇費用便益比（B/C）

再評価	全体事業	残事業
・【自然再生】	4.4	4.1
・【水辺整備】	17.2	17.2
・【全体】	8.8	14.9

## 4-3. 今後の対応方針（原案） 再評価

### (1) 再評価の視点

#### ①事業の必要性等の視点

##### 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・吉井川流域の人口は岡山市において増加傾向が見られるが、その他の市町については緩やかな減少傾向が続いている。
- ・整備箇所は地域イベント等が行われ、多くの住民に利用されているとともに、地域が主体となった「吉井川一斉清掃」が行われているなど、住民の吉井川に対する関心は高いものとなっている。

##### 2) 事業の投資効果

- ・費用便益比 全体事業 (B/C) 8.8 残事業 (B/C) 14.9

##### 3) 事業の進捗状況

- ・【自然再生】《瀬戸箇所》事業の進捗率は88%である。
- ・【水辺整備】《西大寺箇所(上流)》《田原箇所》計画段階であり事業の進捗率は0%である。

#### ②事業の進捗の見込みの視点

- ・《瀬戸箇所》  
瀬戸箇所においては「吉井川瀬戸地区自然再生協議会」の中で、専門家、地域住民の意見を取り入れながら事業を実施しており特に問題はない。
- ・《西大寺箇所(上流)》《田原箇所》  
地域の河川利用に資する水辺環境整備の要望は強く、地域計画や地域からの意見を取り入れながら、協力体制を確立し事業を実施していく予定であり、特に問題はない。

#### ③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ・瀬戸箇所においては、「吉井川瀬戸地区自然再生協議会」の中での専門家、地域住民の意見を取り入れながら、事業を実施している。
- ・西大寺箇所(上流)、田原箇所の整備にあたっては、伐採木の無料配付を行い、コスト縮減に努める。
- ・事業の進捗状況、費用対効果を鑑み、継続実施が妥当であり、現状での代替案を検討する必要はないと考えている。

### (2) 県への意見照会結果

- ・妥当である

#### 【今後の対応方針（原案）】

- ・以上から、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、**事業継続が妥当**である。
- ・今後の事業実施にあたっては、地域との協力体制を確立するとともに、新技術・新工法等を活用し、コスト縮減に引き続き取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。

# 5-1. 整備内容（フォローアップ）

## ①【水辺整備】 <sup>しんち</sup>新地箇所（H13～14）

整備目的：河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、水制工、階段、護岸、坂路の整備を行った。

現状と課題：新地箇所は、レクリエーション等の利用が盛んに行われている。しかし、整備前は水際部においては護岸が急勾配なため、水際に近づくことができず、安全に水辺を利用することができない状況であった。

整備内容：水制工、護岸、階段、坂路、高水敷整正

事業費：142百万円



整備前の状況



護岸が急勾配なため水辺に近づきにくい



整備後の利用状況

平成24年5月撮影



水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができる

整備後の状況

平成23年7月撮影



# 5-1. 整備内容（フォローアップ）

## ②【水辺整備】 さいだいじ 西大寺箇所(下流)（H18）

整備目的：河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷  
整正、河川管理用通路、坂路を整備し、上下流の公園の連続性も確保した。

現状と課題：西大寺箇所(下流)は、釣り等のレクリエーションの利用が盛んに行われている。しかし整備前  
は、雑木や雑草の繁茂、高水敷の不陸により、上下流の高水敷が遮断され、高水敷の連続性が  
確保されておらず、上下流にそれぞれ整備されている河川公園も単一的な利用になっていた。

整備内容：河川管理用通路、坂路、階段、高水敷整正

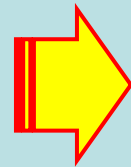
事業費：80百万円



整備前の状況



雑草の繁茂により水辺に近づきにくい



整備後の状況

平成24年5月撮影



水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができる

整備後の利用状況

平成24年5月撮影

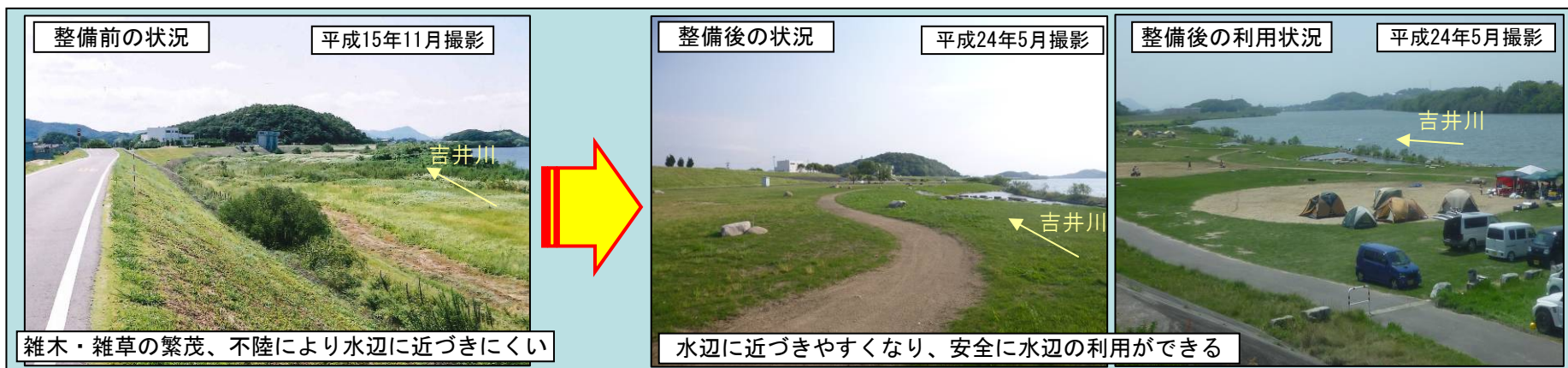


釣り利用状況

## 5-1. 整備内容（フォローアップ）

### ③【水辺整備】 <sup>まめだ</sup>豆田箇所（H13～15）

- 整備目的：河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷  
整正、護岸、階段、坂路、河川管理用通路の整備を行った。
- 現状と課題：豆田箇所は、キャンプ等のレクリエーションの利用が盛んに行われている。しかし整備前は、  
雑木や雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができない状況であった。
- 整備内容：護岸、階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正（国土交通省の事業）  
トイレ、遊具（自治体の事業）
- 事業費：218百万円（うち、国土交通省：200百万円、自治体：18百万円）



# 5-1. 整備内容（フォローアップ）

## ④【水辺整備】 <sup>せと</sup>瀬戸箇所(下流) (H12~14)

整備目的 : 河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸の整備を行った。

現状と課題 : 瀬戸箇所(下流)は、坂根堰の湛水区域であり、水面を利用したスポーツやレクリエーション等に利用されている。平成17年に第60回国民体育大会(岡山大会)のカヌー競技が行われた。しかし整備前は、雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができない状況であった。

整備内容 : 護岸、高水敷整正(国土交通省の事業)  
東屋、トイレ(自治体の事業)

事業費 : 454百万円(うち、国土交通省:290百万円、自治体:164百万円)





# 5-1. 整備内容（フォローアップ）

## ⑤【水辺整備】 くまやま 熊山箇所（H16～17）

**整備目的** : 河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、階段、坂路、河川管理用通路の整備を行った。

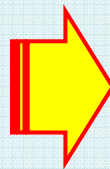
**現状と課題** : 熊山箇所は、環境学習の場や地域行事で数多く利用されていたが、雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができない状況であった。平成15年に、学校関係者、地域自治体、地域活動団体、河川管理者によって、「くまやま水辺の楽校推進協議会」が設立され、地域の意見を取り入れ「くまやま水辺の楽校」整備をおこなった。

**整備内容** : 階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正

**事業費** : 110百万円



整備前の状況 平成16年6月撮影



整備後の状況 平成24年5月撮影



整備後の利用状況



## 5-2. 費用対効果分析（フォローアップ）

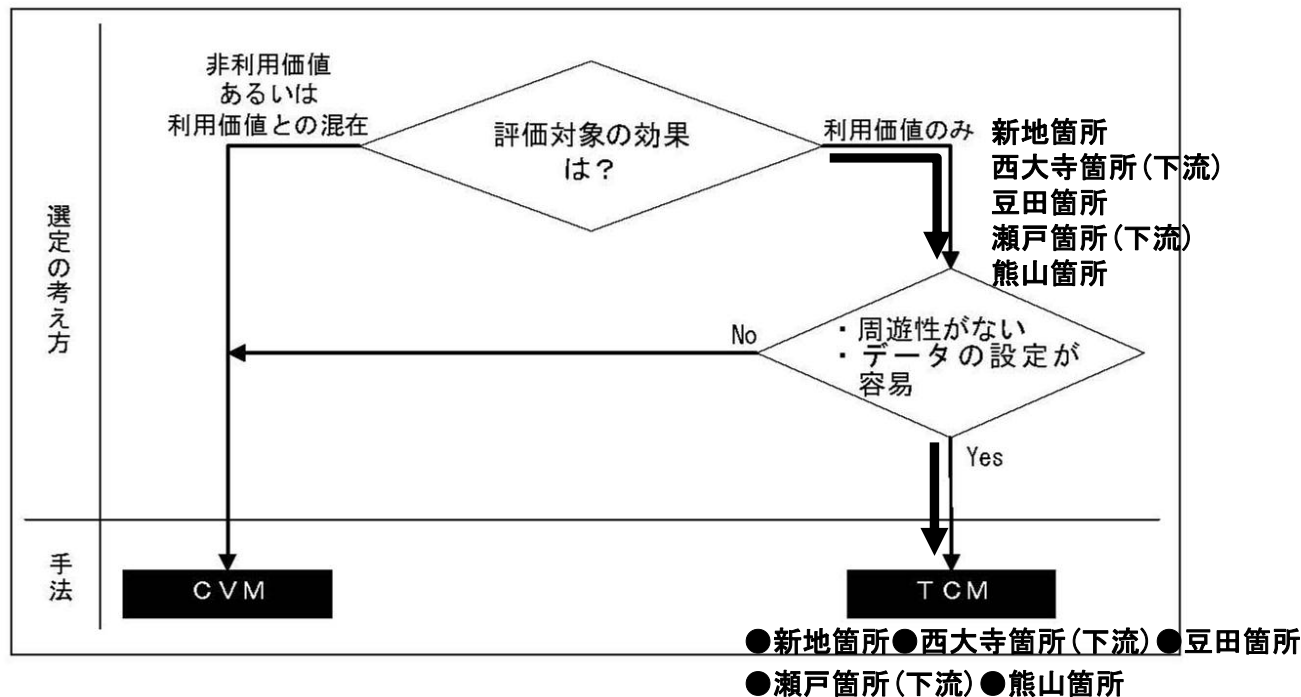
### ■ 評価手法の選定

- 「河川に係る環境整備の経済評価の手引き」に明示されている経済評価手法はCVM、TCM、代替法があり、事業の効果を踏まえ適切に選定する必要がある。

出典) 河川に係る環境整備の経済評価の手引き, 国土交通省河川局 (H22.3)

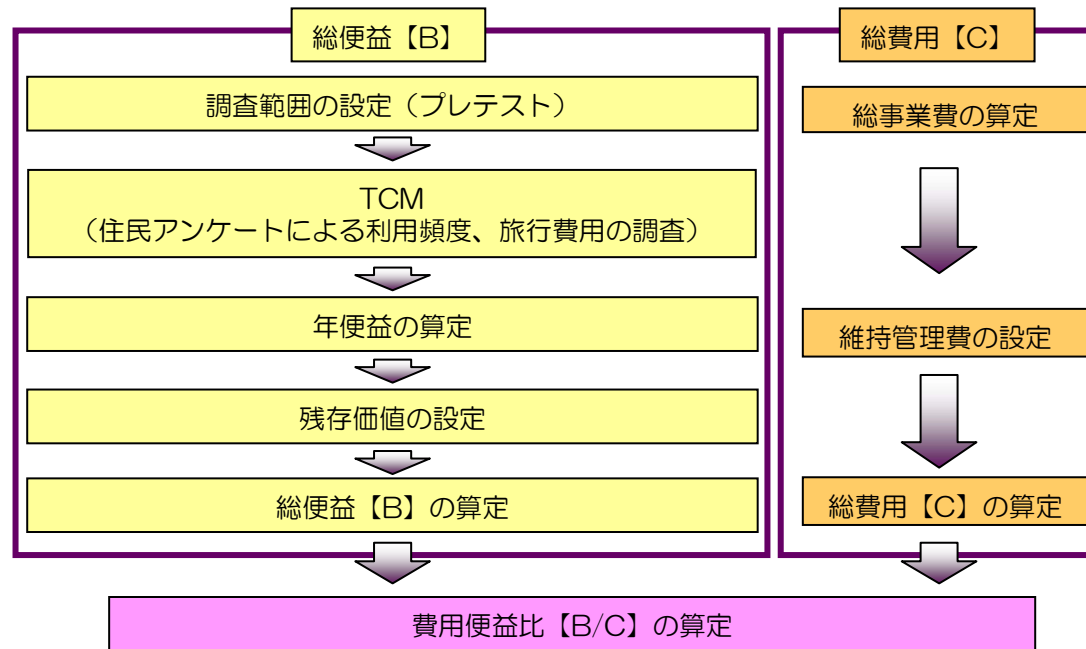
- 新地箇所、西大寺箇所(下流)、豆田箇所、瀬戸箇所(下流)、熊山箇所については利用価値が主となることからTCMを適用する。

【評価手法選定フロー】



## 5-2. 費用対効果分析（フォローアップ）

### (1) 費用便益比（B/C）算定の流れ



### (2) 便益の計測

「河川に係る環境整備の経済評価の手引きH22.3」に基づき、評価を行った。

◆TCM（トラベルコスト法）の場合

⇒利用頻度、旅行費用の需要曲線を推定し、便益を計測する。

## 5-2. 費用対効果分析（フォローアップ）

### （3-1）調査範囲（アンケート配布範囲＝便益集計範囲）の設定 TCM

アンケート配布範囲（便益集計範囲）を下記のとおり設定。

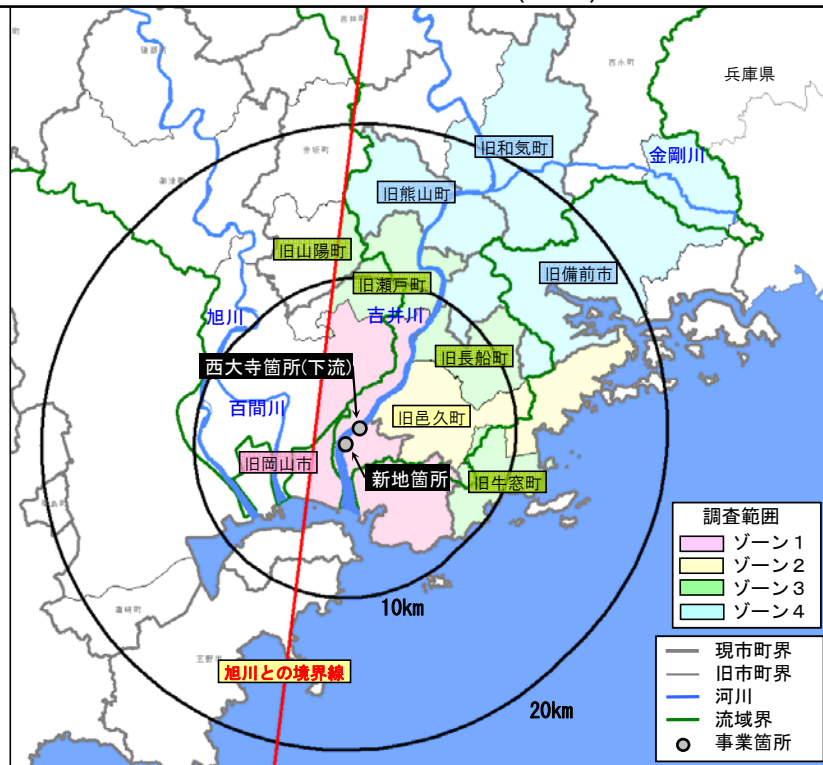
■【水辺整備】新地箇所、西大寺箇所(下流) TCM調査範囲

プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。

■【水辺整備】豆田箇所 TCM調査範囲

プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。

【水辺整備】新地箇所、西大寺箇所(下流) TCM調査範囲



○対象市町（4市1町）

岡山市東区（旧岡山市、旧瀬戸町）、備前市（旧備前市）、  
瀬戸内市（旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町）、  
赤磐市（旧熊山町、旧山陽町）、和気町（旧和気町）

【水辺整備】豆田箇所 TCM調査範囲



○対象市町（4市1町）

岡山市東区（旧岡山市、旧瀬戸町）、備前市（旧備前市、旧日生町、旧吉永町）、瀬戸内市（旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町）、  
赤磐市（旧熊山町、旧山陽町）、和気町（旧和気町、旧佐伯町）

## 5-2. 費用対効果分析（フォローアップ）

### (3-2) 調査範囲（アンケート配布範囲＝便益集計範囲）の設定 TCM

アンケート配布範囲（便益集計範囲）を下記のとおり設定。

■【水辺整備】瀬戸箇所(下流) TCM調査範囲

プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。

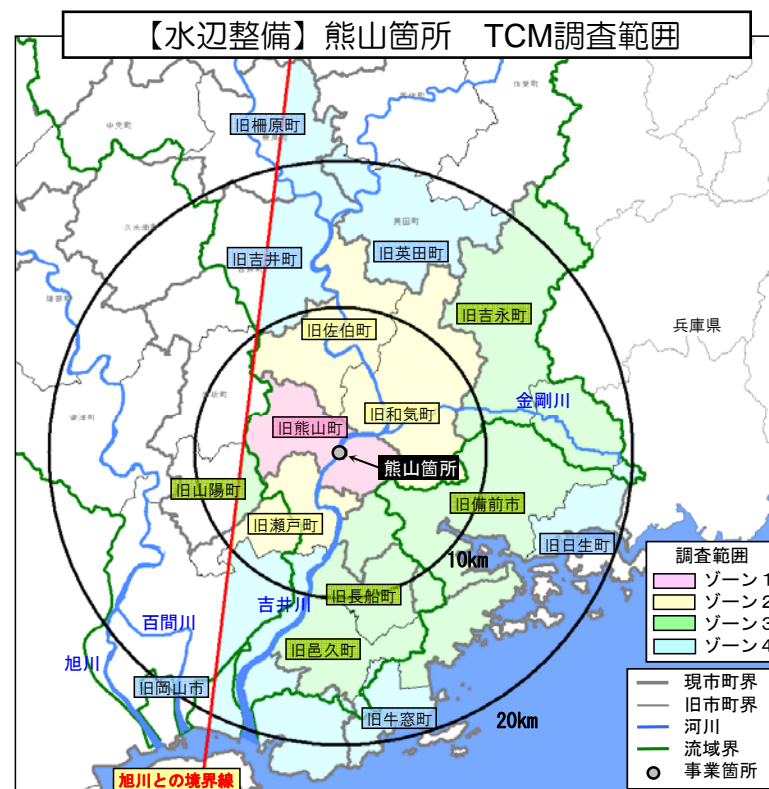
■【水辺整備】熊山箇所 TCM調査範囲

プレテスト結果より、利用が確認された5市2町をアンケート調査範囲に設定する。



○対象市町（4市1町）

岡山市東区（旧岡山市、旧瀬戸町）、備前市（旧備前市、旧日生町、旧吉永町）、瀬戸内市（旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町）、赤磐市（旧熊山町、旧山陽町、旧吉井町）、和氣町（旧和氣町、旧佐伯町）



○対象市町（5市2町）

岡山市東区（旧岡山市、旧瀬戸町）、備前市（旧備前市、旧日生町、旧吉永町）、瀬戸内市（旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町）、赤磐市（旧熊山町、旧山陽町、旧吉井町）、和氣町（旧和氣町、旧佐伯町）、美作市（旧英田町）、美咲町（旧柵原町）

## 5-2. 費用対効果分析（フォローアップ）

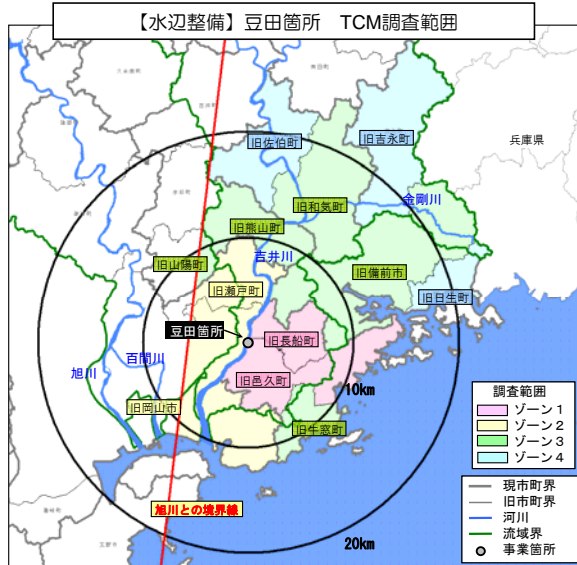
### (3-3) TCM（住民アンケートによる利用頻度、旅行費用の調査）

#### TCM（トラベルコスト法）

- ・アンケート調査結果から利用者の来訪距離別にゾーンを設定。
- ・アンケート調査結果から各ゾーンごとに交通手段別の利用頻度、旅行費用（トラベルコスト）を算定。
- ・整備前後の需要関数を求め、その差分を年便益（消費者余剰）とする。
- ・郵送によるアンケートを実施。

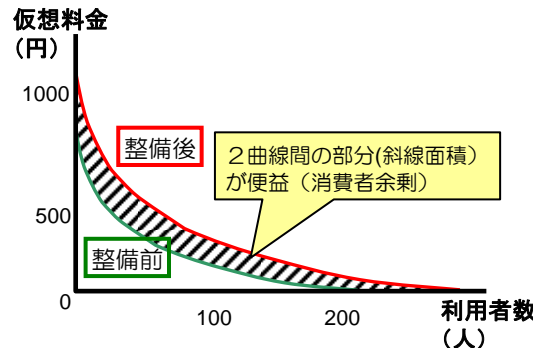
	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
新地箇所	1400	694	49.6%	582	83.9%
西大寺箇所（下流）				590	85.0%
豆田箇所	1400	665	47.5%	564	84.8%
瀬戸箇所（下流）	1400	657	46.9%	590	89.8%
熊山箇所	1400	663	47.4%	597	90.0%

#### 【利用実態を踏まえてゾーンを設定】



#### 【整備前後の消費者余剰（単年度便益）を算定】

#### 豆田箇所の例



豆田箇所	ゾーン名	利用頻度 (回/年)	旅行費用 (円)	年便益 (百万円)
整備前	1	3.43	52	20
	2	1.02	120	
	3	0.35	190	
	4	0.89	458	
整備後	1	4.95	52	50
	2	4.08	120	
	3	1.78	190	
	4	1.70	458	

◆利用頻度とトラベルコストの関数曲線を用いて、ゾーンごとに仮想料金を設定し仮想料金ごと利用者数を求め、各ゾーンの総和によって得られた値により需要曲線（需要関数）を推計

【水辺整備】（フォローアップ）：年便益額 176百万円

#### ① 残存価値の設定

事業完成後50年経過時点での事業箇所の価値を算定。

#### ② 総便益の算定

事業完成後50年の年便益総和に社会的割引率（4%）を用い現在価値化したものに、残存価値を加えた値。

## 5-2. 費用対効果分析（フォローアップ）

### （4）費用便益比（B/C）の算出方法

#### 【便益の整理】

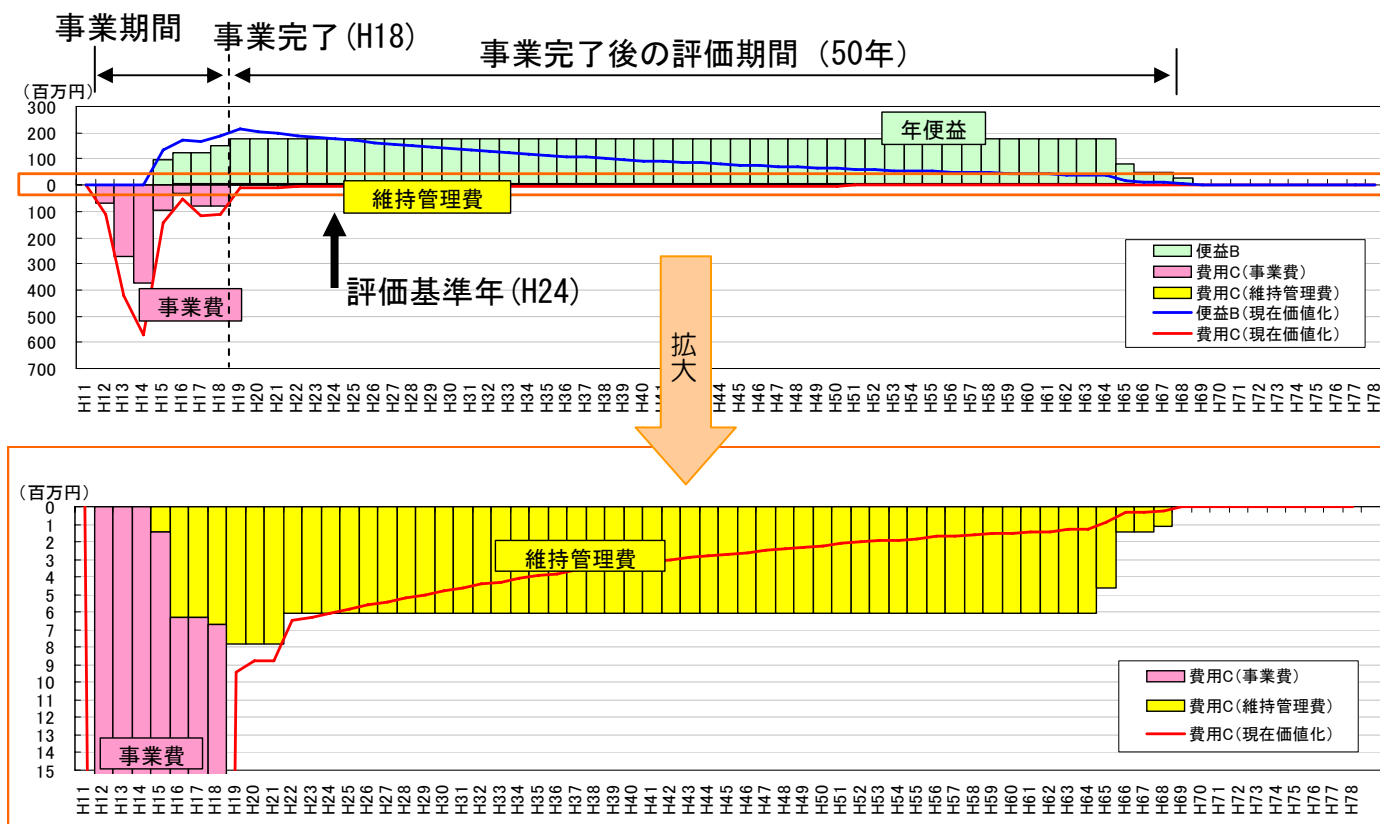
- 評価期間中に発現する便益を社会的割引率（4%）で割り引いた上で集計
- 評価期間後に生じる残存価値を算定

#### 【費用の整理】

- 既投資額についてはデフレータ及び社会的割引率（4%）で割り増しによって現在価値化し、今後見込まれる維持管理費については社会的割引率（4%）によって割り引いた上で集計

項目	フォローアップ
便益（B1）	5,347百万円
残存価値（B2）	29百万円
総便益（B=B1+B2）	5,376百万円
建設費（C1）	1,501百万円
維持管理費（C2）	196百万円
総費用（C=C1+C2）	1,697百万円
費用便益比（B/C）	3.2

【対象箇所】水辺整備：④新地箇所、⑤西大寺箇所(下流)、⑥豆田箇所、⑦瀬戸箇所(下流)、⑧熊山箇所



## 5-2. 費用対効果分析（フォローアップ）

### （5）費用対効果分析結果

評価期間を事業完成後50年間とし、現在価値化を行った。

#### ◇総便益

フォローアップ	
・【水辺整備】	5,376百万円

（※）総便益は、それぞれの年便益総和に社会的割引率（4%）を用い現在価値化したものに残存価値を加えた値。

#### ◇総費用

フォローアップ	
・【水辺整備】	1,697百万円

（※）総費用は、総事業費に50ヶ年の維持管理費を加え、社会的割引率（4%）を用い現在価値化した値。

（※）維持管理費は、実績を基に設定した。

#### ◇費用便益比（B/C）

フォローアップ	
・【水辺整備】	3.2



# 5-3. 今後の対応方針（案） フォローアップ

## (1-1) 事業の効果の発現状況

### 【水辺整備】

- 事業実施箇所では、散策、景観鑑賞、環境学習・体験の場、地域振興のための利用がなされている。



吉井川フェスタ  
(新地箇所)



釣り  
(西大寺箇所(下流))



デイキャンプ  
(豆田箇所)



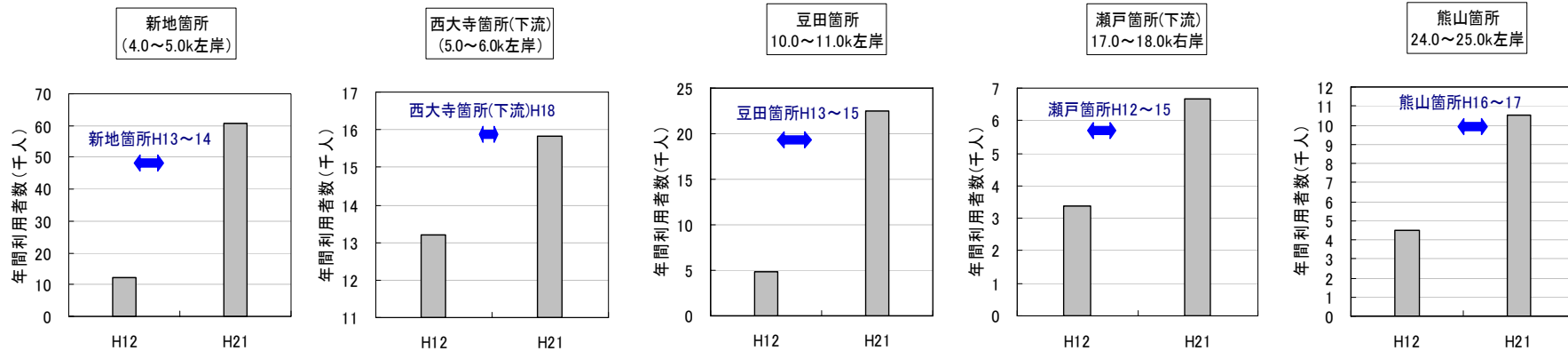
デイキャンプ  
(瀬戸箇所(下流))



環境学習  
(熊山箇所)

33

- 5箇所とも利用者数に増加傾向が見られる。



出典：河川水辺の国勢調査 空間利用実態調査

## 5-3. 今後の対応方針（案） フォローアップ

### （2）事後評価に準ずるフォローアップの視点

#### ① 事業の効果の発現状況

##### 【水辺整備】

##### 《新地箇所》

散策等の日常利用の他、レクリエーション等に利用されている。また、砂浜では、吉井川フェスタ等、様々なイベントが実施されている。

##### 《西大寺箇所(下流)》

散策等の日常利用の他、釣り等のレクリエーション等に利用されている。

##### 《豆田箇所》

散策等の日常利用の他、キャンプ等のレクリエーションに利用されている。

##### 《瀬戸箇所(下流)》

散策等の日常利用の他、水面を利用したスポーツやレクリエーション等に利用されている。平成17年には第60回国民体育大会（岡山大会）のカヌー競技が行われた。

##### 《熊山箇所》

地元小学校の環境学習などに利用されている。また、散策等の日常利用の他、レクリエーション等に利用されている。

#### ② 事業実施による環境の変化

- ・特になし

#### ③ 社会経済情勢等の変化

- ・吉井川流域の人口は岡山市において増加傾向が見られるが、その他の市町については緩やかな減少傾向が続いている。
- ・整備箇所では、スポーツ利用、地域イベント等が行われ、多くの住民に利用されているとともに、地域が主体となった「吉井川一斉清掃」が行われているなど、住民の吉井川に対する関心は高いものとなっている。

### 【今後の対応方針（案）】

本事業は十分な事業効果を発揮しており、今後とも地域住民等による多様な水辺の利用が見込まれることから、**改めて事後評価に準ずるフォローアップを実施する必要はない。**

また、事業目的に見合った事業効果の発現が確認されたことから、**今後の改善措置の必要性はない。**

# 【参考】費用対効果分析

## 費用便益比総括表

### 吉井川総合水系環境整備事業

金額単位：百万円

項目	再評価						フォローアップ	
	事業全体	再評価		残事業	再評価		事業全体	水辺整備
		自然再生	水辺整備		自然再生	水辺整備		
費用 (C)	747	491	256	308	53	256	1,697	1,697
建設費	718	487	231	280	49	231	1,501	1,501
維持管理費	29	4	24	28	4	24	196	196
便益 (B)	6,537	2,149	4,389	4,605	216	4,389	5,376	5,376
便益	6,525	2,144	4,381	4,597	215	4,381	5,347	5,347
残存価値	12	5	7	8	0.4	7	29	29
費用便益比 (B/C)	8.8	4.4	17.2	14.9	4.1	17.2	3.2	3.2

※総費用は、総事業費に50カ年の維持管理費を加え、社会的割引率（4%）を用い現在価値化した値。

※維持管理費は、実績費用等を基に算定した。

※総便益は、それぞれの年便益総和に、社会的割引率（4%）を用い現在価値化したものに残存価値を加えた値。

# 【参考】 前回評価時との比較

## 前回評価時との比較表

事項	前回評価	今回評価		備考	
	(H21)	(H24再評価)	(H24フォローアップ)		
事業諸元	<b>【自然再生】</b> ・瀬戸箇所 [整備中] (産卵場整備、堤外水路整備)  <b>【水辺整備】</b> ・西大寺箇所(上流) [計画] (坂路、河川管理用通路) ・田原箇所 [計画] (護岸、高水敷整正、階段)	<b>【自然再生】</b> ・瀬戸箇所 [整備中] (産卵場整備、堤外水路整備)  <b>【水辺整備】</b> ・西大寺箇所(上流) [計画] (坂路、河川管理用通路) ・田原箇所 [計画] (護岸、高水敷整正、階段)		—	
	<b>【水辺整備】</b> ・新地箇所 [H13~14] (水制工、護岸、階段、坂路、高水敷整正) ・西大寺箇所(下流) [H18] (河川管理用通路、坂路、階段、高水敷整正) ・豆田箇所 [H13~15] (国：護岸、階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正)、(自：トイレ、遊具) ・瀬戸箇所(下流) [H12~14] (国：護岸、高水敷整正)、(自：東屋、トイレ) ・熊山箇所 [H16~17] (階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正)	—		<b>【水辺整備】</b> ・新地箇所 [H13~14] (水制工、護岸、階段、坂路、高水敷整正) ・西大寺箇所(下流) [H18] (河川管理用通路、坂路、階段、高水敷整正) ・豆田箇所 [H13~15] (国：護岸、階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正)、(自：トイレ、遊具) ・瀬戸箇所(下流) [H12~14] (国：護岸、高水敷整正)、(自：東屋、トイレ) ・熊山箇所 [H16~17] (階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正)	
総事業費(百万円)	1,699	716	1,004		
総費用(C)	2,311	747	1,697		
総便益(B)	33,937	6,537	5,376		
費用便益比(B/C)	14.7	8.8	3.2		

## 【参考】 感度分析（再評価）

- 参考として残事業費、残工期、便益を個別に±10%変動させて、費用便益比（B/C）を算定し、感度分析を行った。

＜B/C算定ケース（基本1ケース、感度分析6ケース）＞

項 目	基本	残事業費		残工期		便益	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
全体事業 費用便益比（B/C）	8.8	8.4	9.1	8.7	8.9	9.6	7.9
残事業 費用便益比（B/C）	14.9	13.7	16.4	14.8	15.0	16.4	13.4

(再評価)

## 吉井川総合水系環境整備事業

[費用便益比(B/C)算定等資料]

(再評価)

吉井川総合水系環境整備事業  
(水系全体)

{費用便益比(B / C)算定等資料}

## 【概要】

水系・河川名	吉井川水系吉井川
事業名	吉井川総合水系環境整備事業
事業主体	岡山河川事務所
関係自治体	岡山市、和気町
事業期間	2006年度～2017年度(平成18年度～平成29年度)
基準(評価)年度	2012年度(平成24年度)

## 【費用】

	事業費	維持管理費	合計
単純合計(実質合計)	716百万円	77百万円	793百万円
基準年における現在価値合計(C)	718百万円	29百万円	747百万円

## 【便益】

	便益
供用年度	2018年度(平成30年度)
供用年度の単年度便益(実質価格)	333百万円
残存価値	12百万円
基準年における現在価値合計(B)	6,537百万円

## 【費用便益分析結果】

費用便益比(CBR)	8.8
純現在価値(NPV)	5,790百万円
経済的内部収益率(EIRR)	26.6%



水系全体 全体事業  
【費用便益算定シート】

(様式 - 2)

基準(評価)年度	2012年(H24)
供用年度	2015年(H30)
社会的割引率	4%

年度	元号	西暦	デフ レータ	割引 率	便益・B						費用・C												
					便益			残存価値			計 +	建設費			維持管理費			計 +					
					便益	実質価格	現在価値	実質価格	現在価値	費用		実質価格	現在価値	費用	実質価格	現在価値	費用		実質価格	現在価値			
-13	H11	1999	0.989	1.665																			
-12	H12	2000	0.991	1.601																			
-11	H13	2001	1.016	1.539																			
-10	H14	2002	1.030	1.480																			
-9	H15	2003	1.030	1.423																			
-8	H16	2004	1.026	1.369																			
-7	H17	2005	1.021	1.316																			
-6	H18	2006	1.010	1.265							30.0	30.3	38.3								30.0	30.3	38.3
-5	H19	2007	0.994	1.217							50.0	49.7	60.5								50.0	49.7	60.5
-4	H20	2008	0.967	1.170	16.4	16.4	19.2			19.2	59.2	57.2	66.9	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	59.3	57.3	67.0	
-3	H21	2009	1.001	1.125	28.5	28.5	32.1			32.1	95.5	95.6	107.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	95.6	95.7	107.6	
-2	H22	2010	1.000	1.082	48.0	48.0	52.0			52.0	58.0	58.0	62.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	58.1	58.1	62.9	
-1	H23	2011	1.000	1.040	59.9	59.9	62.3			62.3	33.0	33.0	34.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	33.1	33.1	34.4	
	H24	2012	1.000	1.000	66.7	66.7	66.7			66.7	67.5	67.5	67.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	67.6	67.6	67.6	
1	H25	2013	1.000	0.962	80.5	80.5	77.4			77.4	29.0	29.0	27.9	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	29.1	29.1	28.0	
2	H26	2014	1.000	0.925	86.4	86.4	79.9			79.9	22.8	22.8	21.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	23.0	23.0	21.3	
3	H27	2015	1.000	0.889	91.1	91.1	81.0			81.0	95.0	95.0	84.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	95.2	95.2	84.7	
4	H28	2016	1.000	0.855	91.1	91.1	77.9			77.9	65.0	65.0	55.6	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	65.2	65.2	55.7	
5	H29	2017	1.000	0.822	237.9	237.9	195.6			195.6	111.0	111.0	91.2	0.7	0.7	0.6	111.7	111.7	0.6	111.7	111.7	91.8	
6	H30	2018	1.000	0.790	333.3	333.3	263.3			263.3				1.5	1.5	1.2	1.5	1.5	1.2	1.5	1.5	1.2	
7	H31	2019	1.000	0.760	333.3	333.3	253.3			253.3				1.5	1.5	1.2	1.5	1.5	1.2	1.5	1.5	1.2	
8	H32	2020	1.000	0.731	333.3	333.3	243.7			243.7				1.5	1.5	1.1	1.5	1.5	1.1	1.5	1.5	1.1	
9	H33	2021	1.000	0.703	333.3	333.3	234.3			234.3				1.5	1.5	1.1	1.5	1.5	1.1	1.5	1.5	1.1	
10	H34	2022	1.000	0.676	333.3	333.3	225.3			225.3				1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	
11	H35	2023	1.000	0.650	333.3	333.3	216.7			216.7				1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	
12	H36	2024	1.000	0.625	333.3	333.3	208.3			208.3				1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	
13	H37	2025	1.000	0.601	333.3	333.3	200.3			200.3				1.5	1.5	0.9	1.5	1.5	0.9	1.5	1.5	0.9	
14	H38	2026	1.000	0.577	333.3	333.3	192.3			192.3				1.5	1.5	0.9	1.5	1.5	0.9	1.5	1.5	0.9	
15	H39	2027	1.000	0.555	333.3	333.3	185.0			185.0				1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	
16	H40	2028	1.000	0.534	333.3	333.3	178.0			178.0				1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	
17	H41	2029	1.000	0.513	333.3	333.3	171.0			171.0				1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	
18	H42	2030	1.000	0.494	333.3	333.3	164.7			164.7				1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	
19	H43	2031	1.000	0.475	333.3	333.3	158.3			158.3				1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	
20	H44	2032	1.000	0.456	333.3	333.3	152.0			152.0				1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	
21	H45	2033	1.000	0.439	333.3	333.3	146.3			146.3				1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	
22	H46	2034	1.000	0.422	333.3	333.3	140.7			140.7				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
23	H47	2035	1.000	0.406	333.3	333.3	135.3			135.3				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
24	H48	2036	1.000	0.390	333.3	333.3	130.0			130.0				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
25	H49	2037	1.000	0.375	333.3	333.3	125.0			125.0				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
26	H50	2038	1.000	0.361	333.3	333.3	120.3			120.3				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
27	H51	2039	1.000	0.347	333.3	333.3	115.7			115.7				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
28	H52	2040	1.000	0.333	333.3	333.3	111.0			111.0				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
29	H53	2041	1.000	0.321	333.3	333.3	107.0			107.0				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
30	H54	2042	1.000	0.308	333.3	333.3	102.7			102.7				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
31	H55	2043	1.000	0.296	333.3	333.3	98.7			98.7				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
32	H56	2044	1.000	0.285	333.3	333.3	95.0			95.0				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
33	H57	2045	1.000	0.274	333.3	333.3	91.3			91.3				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
34	H58	2046	1.000	0.264	333.3	333.3	88.0			88.0				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
35	H59	2047	1.000	0.253	333.3	333.3	84.3			84.3				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
36	H60	2048	1.000	0.244	333.3	333.3	81.3			81.3				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
37	H61	2049	1.000	0.234	333.3	333.3	78.0			78.0				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
38	H62	2050	1.000	0.225	333.3	333.3	75.0			75.0				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
39	H63	2051	1.000	0.217	333.3	333.3	72.3			72.3				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
40	H64	2052	1.000	0.208	333.3	333.3	69.3			69.3				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
41	H65	2053	1.000	0.200	333.3	333.3	66.7			66.7				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
42	H66	2054	1.000	0.193	333.3	333.3	64.3			64.3				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
43	H67	2055	1.000	0.185	333.3	333.3	61.7			61.7				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
44	H68	2056	1.000	0.178	333.3	333.3	59.3			59.3				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
45	H69	2057	1.000	0.171	333.3	333.3	57.0			57.0				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
46	H70	2058	1.000	0.165	317.0	317.0	52.3			52.3				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
47	H71	2059	1.000	0.158	304.9	304.9	48.2			48.2				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
48	H72	2060	1.000	0.152	285.3	285.3	43.4			43.4				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
49	H73	2061	1.000	0.146	273.4	273.4	39.9			39.9				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
50	H74	2062	1.000	0.141	266.7	266.7	37.6			37.6				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
51	H75	2063	1.000	0.135	252.9	252.9	34.1			34.1				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
52	H76	2064	1.000	0.130	246.9	246.9	32.1		4.6	36.7				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
53	H77	2065	1.000	0.125	242.2	242.2	30.3			30.3				1.4	1.4	0.2	1.4	1.4	0.2	1.4	1.4	0.2	
54	H78	2066	1.000	0.120	242.2	242.2	29.1			2.1	31.2			1.4									

水系全体 残事業  
【費用便益算定シート】


(様式 - 2)

基準(評価)年度	2012年(H24)
供用年度	2015年(H30)
社会的割引率	4%

年度	元号 西暦		デフレータ	割引率	便益・B						費用・C									
					便益			残存価値			計 +	建設費			維持管理費			計 +		
					便益	実質価格	現在価値	実質価格	現在価値	費用		実質価格	現在価値	費用	実質価格	現在価値	費用		実質価格	現在価値
-13	H11	1999	0.989	1.665																
-12	H12	2000	0.991	1.601																
-11	H13	2001	1.016	1.539																
-10	H14	2002	1.030	1.480																
-9	H15	2003	1.030	1.423																
-8	H16	2004	1.026	1.369																
-7	H17	2005	1.021	1.316																
-6	H18	2006	1.010	1.265																
-5	H19	2007	0.994	1.217																
-4	H20	2008	0.967	1.170																
-3	H21	2009	1.001	1.125																
-2	H22	2010	1.000	1.082																
-1	H23	2011	1.000	1.040																
	H24	2012	1.000	1.000																
	1	H25	2013	1.000	0.962						29.0	29.0	27.9	0.1	0.1	0.1	29.1	29.1	28.0	
	2	H26	2014	1.000	0.925	5.9	5.9	5.5		5.5	22.8	22.8	21.1	0.2	0.2	0.2	23.0	23.0	21.3	
	3	H27	2015	1.000	0.889	10.6	10.6	9.4		9.4	95.0	95.0	84.5	0.2	0.2	0.2	95.2	95.2	84.7	
	4	H28	2016	1.000	0.855	10.6	10.6	9.1		9.1	65.0	65.0	55.6	0.2	0.2	0.1	65.2	65.2	55.7	
	5	H29	2017	1.000	0.822	157.4	157.4	129.4		129.4	111.0	111.0	91.2	0.7	0.7	0.6	111.7	111.7	91.8	
	6	H30	2018	1.000	0.790	252.9	252.9	199.8		199.8				1.5	1.5	1.2	1.5	1.5	1.2	
	7	H31	2019	1.000	0.760	252.9	252.9	192.2		192.2				1.5	1.5	1.2	1.5	1.5	1.2	
	8	H32	2020	1.000	0.731	252.9	252.9	184.8		184.8				1.5	1.5	1.1	1.5	1.5	1.1	
	9	H33	2021	1.000	0.703	252.9	252.9	177.8		177.8				1.5	1.5	1.1	1.5	1.5	1.1	
	10	H34	2022	1.000	0.676	252.9	252.9	170.9		170.9				1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	
	11	H35	2023	1.000	0.650	252.9	252.9	164.4		164.4				1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	
	12	H36	2024	1.000	0.625	252.9	252.9	158.0		158.0				1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	
	13	H37	2025	1.000	0.601	252.9	252.9	152.0		152.0				1.5	1.5	0.9	1.5	1.5	0.9	
	14	H38	2026	1.000	0.577	252.9	252.9	145.9		145.9				1.5	1.5	0.9	1.5	1.5	0.9	
	15	H39	2027	1.000	0.555	252.9	252.9	140.3		140.3				1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	
	16	H40	2028	1.000	0.534	252.9	252.9	135.0		135.0				1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	
	17	H41	2029	1.000	0.513	252.9	252.9	129.7		129.7				1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	
	18	H42	2030	1.000	0.494	252.9	252.9	124.9		124.9				1.5	1.5	0.8	1.5	1.5	0.8	
	19	H43	2031	1.000	0.475	252.9	252.9	120.1		120.1				1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	
	20	H44	2032	1.000	0.456	252.9	252.9	115.3		115.3				1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	
	21	H45	2033	1.000	0.439	252.9	252.9	111.0		111.0				1.5	1.5	0.7	1.5	1.5	0.7	
	22	H46	2034	1.000	0.422	252.9	252.9	106.7		106.7				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
	23	H47	2035	1.000	0.406	252.9	252.9	102.7		102.7				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
	24	H48	2036	1.000	0.390	252.9	252.9	98.6		98.6				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
	25	H49	2037	1.000	0.375	252.9	252.9	94.8		94.8				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
	26	H50	2038	1.000	0.361	252.9	252.9	91.3		91.3				1.5	1.5	0.6	1.5	1.5	0.6	
	27	H51	2039	1.000	0.347	252.9	252.9	87.7		87.7				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
	28	H52	2040	1.000	0.333	252.9	252.9	84.2		84.2				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
	29	H53	2041	1.000	0.321	252.9	252.9	81.2		81.2				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
	30	H54	2042	1.000	0.308	252.9	252.9	77.9		77.9				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
	31	H55	2043	1.000	0.296	252.9	252.9	74.8		74.8				1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5	
	32	H56	2044	1.000	0.285	252.9	252.9	72.1		72.1				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
	33	H57	2045	1.000	0.274	252.9	252.9	69.3		69.3				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
	34	H58	2046	1.000	0.264	252.9	252.9	66.8		66.8				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
	35	H59	2047	1.000	0.253	252.9	252.9	64.0		64.0				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
	36	H60	2048	1.000	0.244	252.9	252.9	61.7		61.7				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
	37	H61	2049	1.000	0.234	252.9	252.9	59.2		59.2				1.5	1.5	0.4	1.5	1.5	0.4	
	38	H62	2050	1.000	0.225	252.9	252.9	56.9		56.9				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	39	H63	2051	1.000	0.217	252.9	252.9	54.9		54.9				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	40	H64	2052	1.000	0.208	252.9	252.9	52.6		52.6				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	41	H65	2053	1.000	0.200	252.9	252.9	50.6		50.6				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	42	H66	2054	1.000	0.193	252.9	252.9	48.8		48.8				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	43	H67	2055	1.000	0.185	252.9	252.9	46.8		46.8				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	44	H68	2056	1.000	0.178	252.9	252.9	45.0		45.0				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	45	H69	2057	1.000	0.171	252.9	252.9	43.2		43.2				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	46	H70	2058	1.000	0.165	252.9	252.9	41.7		41.7				1.5	1.5	0.3	1.5	1.5	0.3	
	47	H71	2059	1.000	0.158	252.9	252.9	40.0		40.0				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
	48	H72	2060	1.000	0.152	252.9	252.9	38.4		38.4				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
	49	H73	2061	1.000	0.146	252.9	252.9	36.9		36.9				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
	50	H74	2062	1.000	0.141	252.9	252.9	35.7		35.7				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
	51	H75	2063	1.000	0.135	252.9	252.9	34.1		34.1				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
	52	H76	2064	1.000	0.130	246.9	246.9	32.1	0.4	32.5				1.5	1.5	0.2	1.5	1.5	0.2	
	53	H77	2065	1.000	0.125	242.2	242.2	30.3		30.3				1.4	1.4	0.2	1.4	1.4	0.2	
	54	H78	2066	1.000	0.120	242.2	242.2	29.1		29.1				1.4	1.4	0.2	1.4	1.4	0.2	
	55	H79	2067	1.000	0.116	95.4	95.4	11.1		11.1				0.8	0.8	0.1	0.8	0.8	0.1	
	合計					12,642.5	12,644.6	4,596.7	7.8	4,604.5	322.8	322.8	280.3	76.8	76.8	28.1	399.6	399.6	308.4	


総便益	B	4,605
総費用	C	308
費用便益比	B/C	14.9
純現在価値	B-C	4,296.11
経済的内部収益率		54.1%

【算出説明書】

事業概要	
事業目的	<p>〈瀬戸箇所〉 国の天然記念物である「アユモドキ」は、かつて岡山県内に広く生息していたが、近年著しく減少している。減少の要因として、隠れ家の減少、工作物による移動の妨げ、外来種による捕食など、アユモドキの生息環境の悪化が考えられる。そこで、産卵場や移動経路の整備によって、アユモドキの生息・繁殖環境の改善を図る。</p> <p>〈西大寺箇所(上流)〉 西大寺箇所(上流)では、堤防天端は交通量が多くなっており、河川管理用通路がなく、坂路も少ないため、安全に水辺を利用することができない状況である。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、坂路、河川管理用通路の整備を行う。</p> <p>〈田原箇所〉 田原箇所は、雑草や雑木が繁茂し河川敷に下りる階段や通路もないため安全に水辺を利用することができない状況である。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸、階段の整備を行う。</p>
事業内容 (事業箇所図)	<p>瀬戸箇所[平成18年度～平成26年度(予定)] 産卵場整備、堤外水路整備</p> <p>西大寺箇所(上流)(計画) 坂路、河川管理用通路</p> <p>田原箇所(計画) 護岸、高水敷整正、階段</p> 

## 【算出説明書】

## 費用便益比の算定根拠

便益	評価手法	自然再生(瀬戸箇所):CVM(平成24年6月にアンケート実施) 水辺整備(西大寺箇所(上流)):TCM(平成24年6月にアンケート実施) 水辺整備(田原箇所):TCM(平成24年6月にアンケート実施)
	便益計測期間	H20～H79
	総便益	年便益額 = 333百万円 残存価値 = 12百万円 <b>総便益B = 単年度便益額 / (1+0.04)<sup>n</sup> + 残存価値額 = 6,537百万円</b>
	評価範囲	<p>瀬戸箇所 便益範囲:プレテスト結果より、吉井川の認識の割合が高い事業箇所から半径10km圏内をアンケート調査範囲に設定する(旭川との境界線より西側を除く)。 世帯数:29,655世帯 配布回収方法:郵送 アンケート票数(全体) 配布数 2,000票 回収数 882票 (回収率44.1%) 有効回答数 521票 (有効回答率59.1%)</p>  <p><b>対象市町(事業箇所から10km圏内)</b> 岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市)、瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町)、赤磐市(旧熊山町、旧山陽町)、和気町(旧和気町、旧佐伯町)</p>

評価範囲

西大寺箇所(上流)

便益範囲: プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。

人口: 162,181人  
 配布回収方法: 郵送  
 アンケート票数(全体)  
 配布数 1,400票  
 回収数 671票  
 (回収率47.9%)  
 有効回答数 526票  
 (有効回答率78.4%)



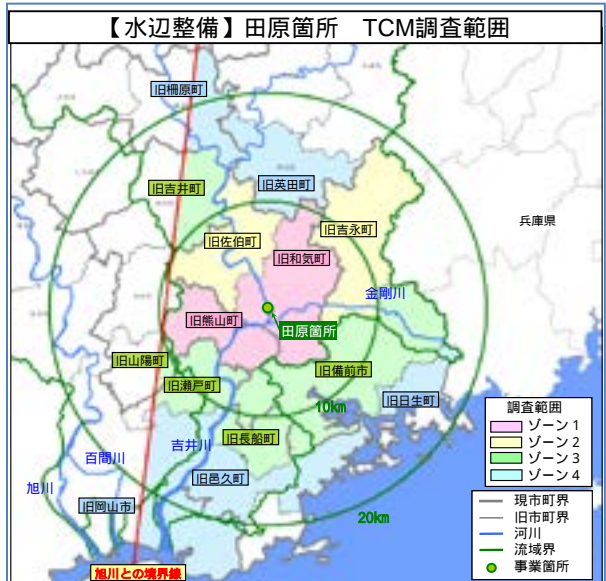
**対象市町(4市1町)**  
 岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市)、  
 瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町)、  
 赤磐市(旧熊山町、旧山陽町)、和気町(旧和気町)

便益

田原箇所

便益範囲: プレテスト結果より、利用が確認された5市2町をアンケート調査範囲に設定する。

人口: 181,062人  
 配布回収方法: 郵送  
 アンケート票数(全体)  
 配布数 1,400票  
 回収数 664票  
 (回収率47.4%)  
 有効回答数 554票  
 (有効回答率83.4%)



**対象市町(5市2町)**  
 岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市、  
 旧日生町、旧吉永町)、瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町)、  
 赤磐市(旧熊山町、旧山陽町、旧吉井町)、和気町(旧和気町、  
 旧佐伯町)、美作市(旧美田町)、美咲町(旧柵原町)

費用	建設費	718百万円
	維持管理費	29百万円
	総費用	747百万円
費用便益比(B/C)		8.8
その他留意点等		

## 事業費の内訳書

## 河川環境整備事業

事業名	吉井川総合水系環境整備事業 (全体事業費)
-----	-----------------------

評価年度	H24	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費(自然再生)			式	1	128	
	本工事費		式	1	128	
		産卵場整備	箇所	3	36	
		堤外水路整備	m	850	92	
間接費等(自然再生)			式	1	317	
事業費(自然再生) 計			式	1	445	
工事費(水辺整備)			式	1	174	
	本工事費		式	1	174	
		護岸	m	55	30	
		高水敷整正	m <sup>2</sup>	33,000	40	
		河川管理用通路	m	1,420	74	
		坂路	箇所	1	23	
		階段	箇所	2	7	
間接費等(水辺整備)			式	1	97	
事業費(水辺整備) 計			式	1	271	
事業費 計			式	1	716	

維持管理費(自然再生)			式	1	9	
維持管理費(水辺整備)			式	1	68	
維持管理費 計			式	1	77	

## 事業費の内訳書

## 河川環境整備事業

事業名	吉井川総合水系環境整備事業 (残事業費)
-----	----------------------

評価年度	H24	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費(自然再生)			式	1	6	
	本工事費		式	1	6	
		産卵場整備	箇所	2	4	
		堤外水路整備	m	100	2	
間接費等(自然再生)			式	1	46	
事業費(自然再生) 計			式	1	52	
工事費(水辺整備)			式	1	174	
	本工事費		式	1	174	
		護岸	m	55	30	
		高水敷整正	m <sup>2</sup>	33,000	40	
		河川管理用通路	m	1,420	74	
		坂路	箇所	1	23	
		階段	箇所	2	7	
間接費等(水辺整備)			式	1	97	
事業費(水辺整備) 計			式	1	271	
事業費 計			式	1	323	

維持管理費(自然再生)			式	1	9	
維持管理費(水辺整備)			式	1	68	
維持管理費 計			式	1	77	



(再評価)

吉井川総合水系環境整備事業  
(自然再生)

{費用便益比(B / C)算定等資料}

## 【概要】

水系・河川名	吉井川水系吉井川
事業名	吉井川総合水系環境整備事業
事業主体	岡山河川事務所
関係自治体	岡山市
事業期間	2006年度～2014年度(平成18年度～平成26年度)
基準(評価)年度	2012年度(平成24年度)

## 【費用】

	事業費	維持管理費	合計
単純合計(実質合計)	445百万円	9百万円	454百万円
基準年における現在価値合計(C)	487百万円	4百万円	491百万円

## 【便益】

	便益
供用年度	2015年度(平成27年度)
供用年度の単年度便益(実質価格)	91百万円
残存価値	5百万円
基準年における現在価値合計(B)	2,149百万円

## 【費用便益分析結果】

費用便益比(CBR)	4.4
純現在価値(NPV)	1,658百万円
経済的内部収益率(EIRR)	20.1%

自然再生 全体事業  
【費用便益算定シート】

(様式 - 2)

基準(評価)年度	2012年(H24)
供用年度	2015年(H27)
社会的割引率	4%

年度	元号	西暦	デフ レート	割引 率	便益: B					費用: C										
					便益			残存価値		計 +	建設費			維持管理費		計 +				
					便益	実質価格	現在価値	実質価格	現在価値		費用	実質価格	現在価値	費用	実質価格	現在価値				
-6	H18	2006	1.010	1.265							30.0	30.3	38.3				30.0	30.3	38.3	
-5	H19	2007	0.994	1.217							50.0	49.7	60.5				50.0	49.7	60.5	
-4	H20	2008	0.967	1.170	16.4	16.4	19.2			19.2	59.2	57.2	66.9	0.1	0.1	0.1	59.3	57.3	67.0	
-3	H21	2009	1.001	1.125	28.5	28.5	32.1			32.1	95.5	95.6	107.5	0.1	0.1	0.1	95.6	95.7	107.6	
-2	H22	2010	1.000	1.082	48.0	48.0	52.0			52.0	58.0	58.0	62.8	0.1	0.1	0.1	58.1	58.1	62.9	
-1	H23	2011	1.000	1.040	59.9	59.9	62.3			62.3	33.0	33.0	34.3	0.1	0.1	0.1	33.1	33.1	34.4	
	H24	2012	1.000	1.000	66.7	66.7	66.7			66.7	67.5	67.5	67.5	0.1	0.1	0.1	67.6	67.6	67.6	
1	H25	2013	1.000	0.962	80.5	80.5	77.4			77.4	29.0	29.0	27.9	0.1	0.1	0.1	29.1	29.1	28.0	
2	H26	2014	1.000	0.925	86.4	86.4	79.9			79.9	22.8	22.8	21.1	0.2	0.2	0.2	23.0	23.0	21.3	
3	H27	2015	1.000	0.889	91.1	91.1	81.0			81.0				0.2	0.2	0.15	0.2	0.2	0.15	
4	H28	2016	1.000	0.855	91.1	91.1	77.9			77.9				0.2	0.2	0.15	0.2	0.2	0.15	
5	H29	2017	1.000	0.822	91.1	91.1	74.9			74.9				0.2	0.2	0.14	0.2	0.2	0.14	
6	H30	2018	1.000	0.790	91.1	91.1	72.0			72.0				0.2	0.2	0.13	0.2	0.2	0.13	
7	H31	2019	1.000	0.760	91.1	91.1	69.2			69.2				0.2	0.2	0.13	0.2	0.2	0.13	
8	H32	2020	1.000	0.731	91.1	91.1	66.6			66.6				0.2	0.2	0.12	0.2	0.2	0.12	
9	H33	2021	1.000	0.703	91.1	91.1	64.0			64.0				0.2	0.2	0.12	0.2	0.2	0.12	
10	H34	2022	1.000	0.676	91.1	91.1	61.6			61.6				0.2	0.2	0.12	0.2	0.2	0.12	
11	H35	2023	1.000	0.650	91.1	91.1	59.2			59.2				0.2	0.2	0.11	0.2	0.2	0.11	
12	H36	2024	1.000	0.625	91.1	91.1	56.9			56.9				0.2	0.2	0.11	0.2	0.2	0.11	
13	H37	2025	1.000	0.601	91.1	91.1	54.8			54.8				0.2	0.2	0.10	0.2	0.2	0.10	
14	H38	2026	1.000	0.577	91.1	91.1	52.6			52.6				0.2	0.2	0.10	0.2	0.2	0.10	
15	H39	2027	1.000	0.555	91.1	91.1	50.6			50.6				0.2	0.2	0.09	0.2	0.2	0.09	
16	H40	2028	1.000	0.534	91.1	91.1	48.6			48.6				0.2	0.2	0.09	0.2	0.2	0.09	
17	H41	2029	1.000	0.513	91.1	91.1	46.7			46.7				0.2	0.2	0.09	0.2	0.2	0.09	
18	H42	2030	1.000	0.494	91.1	91.1	45.0			45.0				0.2	0.2	0.08	0.2	0.2	0.08	
19	H43	2031	1.000	0.475	91.1	91.1	43.3			43.3				0.2	0.2	0.08	0.2	0.2	0.08	
20	H44	2032	1.000	0.456	91.1	91.1	41.5			41.5				0.2	0.2	0.08	0.2	0.2	0.08	
21	H45	2033	1.000	0.439	91.1	91.1	40.0			40.0				0.2	0.2	0.08	0.2	0.2	0.08	
22	H46	2034	1.000	0.422	91.1	91.1	38.4			38.4				0.2	0.2	0.07	0.2	0.2	0.07	
23	H47	2035	1.000	0.406	91.1	91.1	37.0			37.0				0.2	0.2	0.07	0.2	0.2	0.07	
24	H48	2036	1.000	0.390	91.1	91.1	35.5			35.5				0.2	0.2	0.07	0.2	0.2	0.07	
25	H49	2037	1.000	0.375	91.1	91.1	34.2			34.2				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
26	H50	2038	1.000	0.361	91.1	91.1	32.9			32.9				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
27	H51	2039	1.000	0.347	91.1	91.1	31.6			31.6				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
28	H52	2040	1.000	0.333	91.1	91.1	30.3			30.3				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
29	H53	2041	1.000	0.321	91.1	91.1	29.2			29.2				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
30	H54	2042	1.000	0.308	91.1	91.1	28.1			28.1				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
31	H55	2043	1.000	0.296	91.1	91.1	27.0			27.0				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
32	H56	2044	1.000	0.285	91.1	91.1	26.0			26.0				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
33	H57	2045	1.000	0.274	91.1	91.1	25.0			25.0				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
34	H58	2046	1.000	0.264	91.1	91.1	24.1			24.1				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
35	H59	2047	1.000	0.253	91.1	91.1	23.0			23.0				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
36	H60	2048	1.000	0.244	91.1	91.1	22.2			22.2				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
37	H61	2049	1.000	0.234	91.1	91.1	21.3			21.3				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
38	H62	2050	1.000	0.225	91.1	91.1	20.5			20.5				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
39	H63	2051	1.000	0.217	91.1	91.1	19.8			19.8				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
40	H64	2052	1.000	0.208	91.1	91.1	18.9			18.9				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
41	H65	2053	1.000	0.200	91.1	91.1	18.2			18.2				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
42	H66	2054	1.000	0.193	91.1	91.1	17.6			17.6				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
43	H67	2055	1.000	0.185	91.1	91.1	16.9			16.9				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
44	H68	2056	1.000	0.178	91.1	91.1	16.2			16.2				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
45	H69	2057	1.000	0.171	91.1	91.1	15.6			15.6				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
46	H70	2058	1.000	0.165	74.7	74.7	12.3			12.3				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
47	H71	2059	1.000	0.158	62.6	62.6	9.9			9.9				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
48	H72	2060	1.000	0.152	43.1	43.1	6.5			6.5				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
49	H73	2061	1.000	0.146	31.2	31.2	4.6			4.6				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
50	H74	2062	1.000	0.141	24.4	24.4	3.4			3.4				0.2	0.2	0.02	0.2	0.2	0.02	
51	H75	2063	1.000	0.135	10.6	10.6	1.4			1.4				0.2	0.2	0.02	0.2	0.2	0.02	
52	H76	2064	1.000	0.130	4.7	4.7	0.6			4.6				0.2	0.2	0.02	0.2	0.2	0.02	
合計						4,555.0	4,555.0	2,144.2		4.6	2,148.8	445.0	443.1	486.8	9.2	9.3	4.2	454.2	452.4	491.0

総便益	B	2,149
総費用	C	491
費用便益比	B/C	4.4
純現在価値	B-C	1,657.8
経済的内部収益率		20.1%

自然再生 残事業  
【費用便益算定シート】


(様式 - 2)

基準(評価)年度	2012年(H24)
供用年度	2015年(H27)
社会的割引率	4%

年度	元号	西暦	デフ レート	割引 率	便益: B						費用: C									
					便益			残存価値		計 +	建設費			維持管理費			計 +			
					便益	実質価格	現在価値	実質価格	現在価値		費用	実質価格	現在価値	費用	実質価格	現在価値	費用	実質価格	現在価値	
整備期間	-6	H18	2006	1.010	1.265															
	-5	H19	2007	0.994	1.217															
	-4	H20	2008	0.967	1.170															
	-3	H21	2009	1.001	1.125															
	-2	H22	2010	1.000	1.082															
	-1	H23	2011	1.000	1.040															
		H24	2012	1.000	1.000															
	1	H25	2013	1.000	0.962						29.0	29.0	27.9	0.1	0.1	0.1	29.1	29.1	28.0	
	2	H26	2014	1.000	0.925	5.9	5.9	5.5		5.5	22.8	22.8	21.1	0.2	0.2	0.2	23.0	23.0	21.3	
	3	H27	2015	1.000	0.889	10.6	10.6	9.4		9.4				0.2	0.2	0.15	0.2	0.2	0.15	
	4	H28	2016	1.000	0.855	10.6	10.6	9.1		9.1				0.2	0.2	0.15	0.2	0.2	0.15	
	5	H29	2017	1.000	0.822	10.6	10.6	8.7		8.7				0.2	0.2	0.14	0.2	0.2	0.14	
	6	H30	2018	1.000	0.790	10.6	10.6	8.4		8.4				0.2	0.2	0.13	0.2	0.2	0.13	
	7	H31	2019	1.000	0.760	10.6	10.6	8.1		8.1				0.2	0.2	0.13	0.2	0.2	0.13	
	8	H32	2020	1.000	0.731	10.6	10.6	7.8		7.8				0.2	0.2	0.12	0.2	0.2	0.12	
	9	H33	2021	1.000	0.703	10.6	10.6	7.5		7.5				0.2	0.2	0.12	0.2	0.2	0.12	
	10	H34	2022	1.000	0.676	10.6	10.6	7.2		7.2				0.2	0.2	0.12	0.2	0.2	0.12	
	11	H35	2023	1.000	0.650	10.6	10.6	6.9		6.9				0.2	0.2	0.11	0.2	0.2	0.11	
	12	H36	2024	1.000	0.625	10.6	10.6	6.6		6.6				0.2	0.2	0.11	0.2	0.2	0.11	
	13	H37	2025	1.000	0.601	10.6	10.6	6.4		6.4				0.2	0.2	0.10	0.2	0.2	0.10	
	14	H38	2026	1.000	0.577	10.6	10.6	6.1		6.1				0.2	0.2	0.10	0.2	0.2	0.10	
	15	H39	2027	1.000	0.555	10.6	10.6	5.9		5.9				0.2	0.2	0.09	0.2	0.2	0.09	
	16	H40	2028	1.000	0.534	10.6	10.6	5.7		5.7				0.2	0.2	0.09	0.2	0.2	0.09	
	17	H41	2029	1.000	0.513	10.6	10.6	5.4		5.4				0.2	0.2	0.09	0.2	0.2	0.09	
	18	H42	2030	1.000	0.494	10.6	10.6	5.2		5.2				0.2	0.2	0.08	0.2	0.2	0.08	
	19	H43	2031	1.000	0.475	10.6	10.6	5.0		5.0				0.2	0.2	0.08	0.2	0.2	0.08	
	20	H44	2032	1.000	0.456	10.6	10.6	4.8		4.8				0.2	0.2	0.08	0.2	0.2	0.08	
	21	H45	2033	1.000	0.439	10.6	10.6	4.7		4.7				0.2	0.2	0.08	0.2	0.2	0.08	
	22	H46	2034	1.000	0.422	10.6	10.6	4.5		4.5				0.2	0.2	0.07	0.2	0.2	0.07	
	23	H47	2035	1.000	0.406	10.6	10.6	4.3		4.3				0.2	0.2	0.07	0.2	0.2	0.07	
	24	H48	2036	1.000	0.390	10.6	10.6	4.1		4.1				0.2	0.2	0.07	0.2	0.2	0.07	
	25	H49	2037	1.000	0.375	10.6	10.6	4.0		4.0				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
	26	H50	2038	1.000	0.361	10.6	10.6	3.8		3.8				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
	27	H51	2039	1.000	0.347	10.6	10.6	3.7		3.7				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
	28	H52	2040	1.000	0.333	10.6	10.6	3.5		3.5				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
	29	H53	2041	1.000	0.321	10.6	10.6	3.4		3.4				0.2	0.2	0.06	0.2	0.2	0.06	
	30	H54	2042	1.000	0.308	10.6	10.6	3.3		3.3				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
	31	H55	2043	1.000	0.296	10.6	10.6	3.1		3.1				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
	32	H56	2044	1.000	0.285	10.6	10.6	3.0		3.0				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
	33	H57	2045	1.000	0.274	10.6	10.6	2.9		2.9				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
	34	H58	2046	1.000	0.264	10.6	10.6	2.8		2.8				0.2	0.2	0.05	0.2	0.2	0.05	
	35	H59	2047	1.000	0.253	10.6	10.6	2.7		2.7				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
	36	H60	2048	1.000	0.244	10.6	10.6	2.6		2.6				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
	37	H61	2049	1.000	0.234	10.6	10.6	2.5		2.5				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
	38	H62	2050	1.000	0.225	10.6	10.6	2.4		2.4				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
	39	H63	2051	1.000	0.217	10.6	10.6	2.3		2.3				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
	40	H64	2052	1.000	0.208	10.6	10.6	2.2		2.2				0.2	0.2	0.04	0.2	0.2	0.04	
	41	H65	2053	1.000	0.200	10.6	10.6	2.1		2.1				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	42	H66	2054	1.000	0.193	10.6	10.6	2.0		2.0				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	43	H67	2055	1.000	0.185	10.6	10.6	2.0		2.0				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	44	H68	2056	1.000	0.178	10.6	10.6	1.9		1.9				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	45	H69	2057	1.000	0.171	10.6	10.6	1.8		1.8				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	46	H70	2058	1.000	0.165	10.6	10.6	1.8		1.8				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	47	H71	2059	1.000	0.158	10.6	10.6	1.7		1.7				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	48	H72	2060	1.000	0.152	10.6	10.6	1.6		1.6				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	49	H73	2061	1.000	0.146	10.6	10.6	1.5		1.5				0.2	0.2	0.03	0.2	0.2	0.03	
	50	H74	2062	1.000	0.141	10.6	10.6	1.5		1.5				0.2	0.2	0.02	0.2	0.2	0.02	
	51	H75	2063	1.000	0.135	10.6	10.6	1.4		1.4				0.2	0.2	0.02	0.2	0.2	0.02	
	52	H76	2064	1.000	0.130	4.7	4.7	0.6		0.4	1.0			0.2	0.2	0.02	0.2	0.2	0.02	
		合計				530.5	530.0	215.4		0.4	215.8	51.8	51.8	49.0	8.8	8.8	3.7	60.6	60.6	52.7


総便益	B	216
総費用	C	53
費用便益比	B/C	4.1
純現在価値	B-C	163.12
経済的内部収益率		20.0%

【算出説明書】

事業概要	
事業目的	<p>〈瀬戸箇所〉 国の天然記念物である「アユモドキ」は、かつて岡山県内に広く生息していたが、近年著しく減少している。減少の要因として、隠れ家の減少、工作物による移動の妨げ、外来種による捕食など、アユモドキの生息環境の悪化が考えられる。そこで、産卵場や移動経路の整備によって、アユモドキの生息・繁殖環境の改善を図る。</p>
事業内容 (事業箇所図)	<p>瀬戸箇所[平成18年度～平成26年度(予定)] 産卵場整備、堤外水路整備</p>  <p>The map shows the Seto area in Okayama Prefecture. A red oval highlights the '瀬戸箇所' (Seto area) where the project is being implemented. The map includes labels for cities such as 赤磐市 (Aki City), 和気町 (Waki Town), 備前市 (Bizen City), 岡山市 (Okayama City), and 瀬戸内市 (Setouchi City). Rivers shown include 吉井川 (Yagi River) and 金剛川 (Kanai River). A legend indicates that a red dot represents the '整備中' (under construction) area.</p>

## 【算出説明書】

## 費用便益比の算定根拠

便益	評価手法	自然再生(瀬戸箇所):CVM(平成24年6月にアンケート実施)
	便益計測期間	H20～H76
	総便益	年便益額 = 91百万円 残存価値 = 5百万円 <b>総便益B = 単年度便益額 / (1+0.04)<sup>n</sup> + 残存価値額 = 2,149百万円</b>
	評価範囲	<p>瀬戸箇所 便益範囲: プレテスト結果より、吉井川の認識の割合が高い事業箇所から半径10km圏内をアンケート調査範囲に設定する(旭川との境界線より西側を除く)。 世帯数: 29,655世帯 配布回収方法: 郵送 アンケート票数(全体) 配布数 2,000票 回収数 882票 (回収率44.1%) 有効回答数 521票 (有効回答率59.1%)</p>  <p><b>【自然再生】瀬戸箇所 CVM調査範囲</b></p> <p><b>対象市町(事業箇所から10km圏内)</b> 岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市)、瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町)、赤磐市(旧熊山町、旧山陽町)、和気町(旧和気町、旧佐伯町)</p>
費用	建設費	487百万円
	維持管理費	4百万円
	総費用	491百万円
費用便益比(B/C)		4.4
その他留意点等		

国の天然記念物「アユモドキ」は、かつて岡山県内に広く生息していましたが、近年著しく減少しています。吉井川は全国で初めて自然産卵場所が特定され、辛うじて維持されている生息環境を、専門家や地域が一体となって保全する取り組みが行われています。

アユモドキの繁殖には、一時的水域と河川から用水路・水田等へ自由に移動できる連続性が不可欠と言われています。国土交通省では、市民や関係行政機関等と連携してアユモドキが生息できる良好な環境の再生に取り組んでいます。



アユモドキはドジョウのなかまで、形や色がアユに似ていることから、この名前がつけました。琵琶湖淀川水系と岡山県の旭川・吉井川水系だけに分布する種です。



【現状】・隠れ家の減少、工作物による移動の妨げ、外来種による捕食など、アユモドキの生息環境が悪化しています。

【整備前】

アユモドキの生息環境の悪化



隠れ家の減少



工作物による移動の妨げ

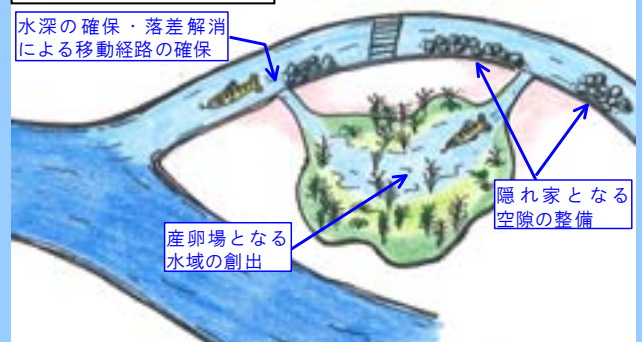


外来種による捕食

・隠れ家の減少、工作物による移動の妨げ、外来種による捕食など、アユモドキの生息環境が悪化しています。

【整備後】

整備後のイメージ



・産卵場や移動経路の整備によって、アユモドキの生息・繁殖環境を改善し、絶滅の危機を回避します。

事業の効果 ・アユモドキが生息できる良好な環境を再生することで、絶滅の回避・種の保存に繋がります。

## 「瀬戸箇所」に関するアンケート調査

別紙の事業説明資料をご覧ください、次の質問にご回答下さい。





## 「瀬戸箇所」について

問4 あなたのお宅から、「瀬戸箇所」までの所要時間はどのくらいですか。

枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。

下線部分  には、分単位で、概<sup>おおむ</sup>ねの時間を記入して下さい。

「瀬戸箇所」まで

1. 車

2. 自転車

3. 徒歩

で  分くらい

問5 整備を行わない場合と整備を行う場合の状況を見比べて、「瀬戸箇所」の整備が必要だと思えますか。

1. 必要だと思う

2. 必要だとは思わない

ここからは、**仮の質問**です。説明文をよくお読みになったうえでお答え下さい。

実際には、このような事業は税金によって実施していますが、ここでは事業の効果を金額に置きかえて評価するために、**仮に事業の実施が税金で行われるのではなく、事業の実施に必要な金額を各世帯から「負担金」という形で分担して支払うような仕組みがあったとしたら、という場合を想像してお答えください。**

【状況 A】

**整備を行わない場合**

- 事業説明資料にお示したとおり、事業を実施しない場合は、アユモドキの絶滅の危険性が高い状況です。
- あなたの世帯の負担金はありません。

【状況 B】

**整備を行う場合**

- 事業説明資料にお示したとおり、事業を実施することにより、産卵場や移動経路の整備によって、アユモドキの生息・繁殖環境が向上し、絶滅の危機から守ります。
- あなたの世帯から負担金が必要です。

**補足事項**

アンケートによる金額（問6、問7、問8）は、事業の効果を評価するための仮定であり、**実際にこのような仕組みが考えられているものではありません。**

**問6** 事業説明資料の【状況 A】(整備を行わない場合)から【状況 B】(整備を行う場合:現状)を実現するための負担金の額を、負担金が毎月いくらまでならば事業に賛成されますか。実際に負担するつもりになって、お答えください。  
 なお、負担金はこの地域にお住まいの間、支払い続けていただくことになることを、十分念頭においてお答えください。また、負担金はこの事業の実施と維持管理のためにのみ使われ、他の目的には一切使われないこととします。

下記の金額は、1世帯あたりの支払い金額です。

(回答例のように、少ない金額から順に、一つずつ選択してください。)

(回答記入欄)

負担金の金額	回答欄	
1.月に50円(年間600円)ならば、	1.賛成する	2.反対する
2.月に100円(年間1,200円)ならば、	1.賛成する	2.反対する
3.月に200円(年間2,400円)ならば、	1.賛成する	2.反対する
4.月に300円(年間3,600円)ならば、	1.賛成する	2.反対する
5.月に500円(年間6,000円)ならば、	1.賛成する	2.反対する
6.月に700円(年間8,400円)ならば、	1.賛成する	2.反対する
7.月に1,000円(年間12,000円)ならば、	1.賛成する	2.反対する
8.月に1,500円(年間18,000円)ならば、	1.賛成する	2.反対する

(回答例)

回答欄	
<input checked="" type="radio"/> 1.賛成する	2.反対する
<input checked="" type="radio"/> 1.賛成する	2.反対する
<input checked="" type="radio"/> 1.賛成する	2.反対する
<input checked="" type="radio"/> 1.賛成する	2.反対する
1.賛成する	<input checked="" type="radio"/> 2.反対する
1.賛成する	<input checked="" type="radio"/> 2.反対する
1.賛成する	<input checked="" type="radio"/> 2.反対する
1.賛成する	<input checked="" type="radio"/> 2.反対する

**問7** 問6で全てに反対、すなわち、「毎月50円」でも支払わない、とお答えになった方にお伺いします。

その理由は何ですか。あてはまるものを一つ選び、番号を で囲んでください。その他の場合、( )の中に具体的にお書きください。

- 1) 事業が行われる方がよいと思うが、毎月50円(年間あたり600円)も支払う価値はないと思うから
- 2) たとえ支払いがなくても、この事業を行なわない方がよいと思うから
- 3) 国や自治体が税金を使って実施すべきだと思うから
- 4) 世帯から負担金を集めるという仕組みに反対だから
- 5) これだけの情報では判断できない
- 6) その他 ( )

**問8** 問6で一つでも賛成、すなわち、負担金が発生してもよい、とお答えになった方にお伺いします。

その理由は何ですか。あてはまるものを一つ選び、番号を で囲んでください。その他の場合、( )の中に具体的にお書きください。

- 1) アユモドキの生息環境の保全は大変重要なことだと思うから
- 2) アユモドキ以外の生息環境の保全にもつながると思うから
- 3) 洪水の心配がなくなるから
- 4) 自分や家族にとっては価値はないが、他の世帯も支払うのであれば仕方がないから
- 5) その他 ( )

これで **仮の質問** は終わりです。

## あなた自身のことについてお伺いたします。

問9 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問10 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

問11 あなたの世帯で主な収入を得ておられる方のご職業をお答え下さい。

1. 農業                      2. 林業                      3. 会社員                      4. 公務員                      5. 自営業  
6. パート・アルバイト                      7. 学生                      8. 無職                      9. その他 (      )

問12 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

## 自由意見

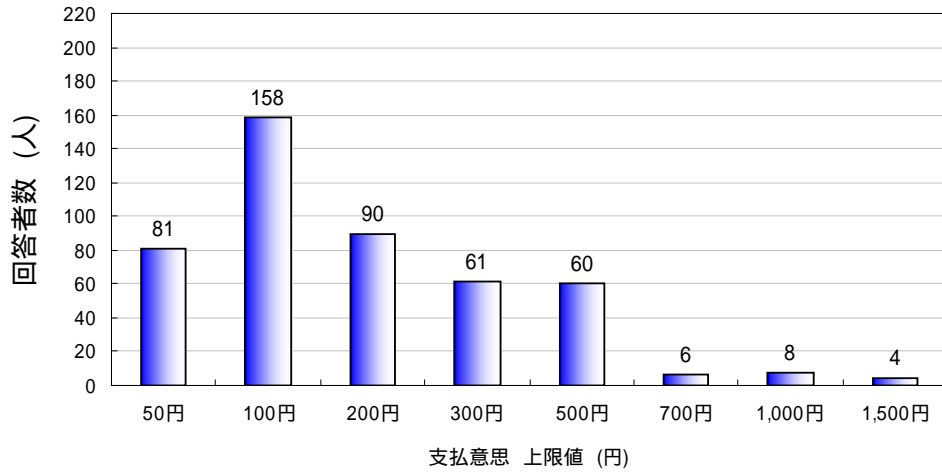
問13 最後に、アユモドキの産卵場や移動経路の整備や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***

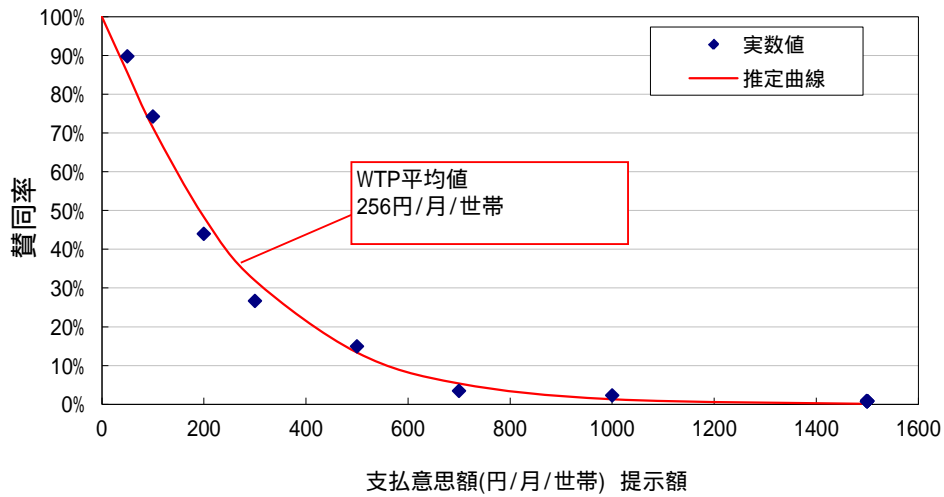
吉井川総合水系環境整備事業 再評価 自然再生(瀬戸箇所)  
CVM本調査結果

1. アンケート集計数

	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率	抵抗回答数	無効回答数
瀬戸箇所	2000	882	44.1%	521	59.1%	172	189



2. WTP算定結果



3. 便益・費用算定結果

	WTP (円/月/世帯)	受益世帯数 (世帯)	年便益 (百万円)	B(百万円)	C(百万円)
瀬戸箇所	256	29,655	91	2,149	491

- ・ Bは残存価値を加算した。
- ・ 年便益 = WTP × 12ヶ月 × 受益世帯数

(再評価)

吉井川総合水系環境整備事業  
(水辺整備)

{費用便益比(B / C)算定等資料}

## 【概要】

水系・河川名	吉井川水系吉井川
事業名	吉井川総合水系環境整備事業
事業主体	岡山河川事務所
関係自治体	岡山市、和気町
事業期間	2015年度～2017年度(平成27年度～平成29年度)
基準(評価)年度	2012年度(平成24年度)

## 【費用】

	事業費	維持管理費	合計
単純合計(実質合計)	271百万円	68百万円	339百万円
基準年における現在価値合計(C)	231百万円	24百万円	256百万円

## 【便益】

	便益
供用年度	2018年度(平成30年度)
供用年度の単年度便益(実質価格)	242百万円
残存価値	7百万円
基準年における現在価値合計(B)	4,389百万円

## 【費用便益分析結果】

費用便益比(CBR)	17.2
純現在価値(NPV)	4,133百万円
経済的内部収益率(EIRR)	68.6%





【算出説明書】

<p>事業概要</p>	
<p>事業目的</p>	<p>《西大寺箇所(上流)》 西大寺箇所(上流)では、堤防天端は交通量が多くなっており、河川管理用通路がなく、坂路も少ないため、安全に水辺を利用することができない状況である。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、坂路、河川管理用通路の整備を行う。</p> <p>《田原箇所》 田原箇所は、雑草や雑木が繁茂し河川敷に下りる階段や通路もないため安全に水辺を利用することができない状況である。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸、階段の整備を行う。</p>
<p>事業内容 (事業箇所図)</p>	<p>西大寺箇所(上流)(計画) 坂路、河川管理用通路</p> <p>田原箇所(計画) 護岸、高水敷整正、階段</p> 

## 【算出説明書】

## 費用便益比の算定根拠

便益	評価手法	水辺整備(西大寺箇所(上流)):TCM(平成24年6月にアンケート実施) 水辺整備(田原箇所):TCM(平成24年6月にアンケート実施)
	便益計測期間	H29～H79(各事業完了から50年)
	総便益	年便益額 = 242百万円 残存価値 = 7百万円 <b>総便益B = 単年度便益額 / (1+0.04)<sup>n</sup> + 残存価値額 = 4,389百万円</b>
	評価範囲	<p>西大寺箇所(上流) 便益範囲:プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。 人口:162,181人 配布回収方法:郵送 アンケート票数(全体) 配布数 1,400票 回収数 671票 (回収率47.9%) 有効回答数 526票 (有効回答率78.4%)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>【水辺整備】西大寺箇所(上流) TCM調査範囲</p>  </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p><b>対象市町(4市1町)</b> 岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市)、 瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町)、 赤磐市(旧熊山町、旧山陽町)、和気町(旧和気町)</p> </div> </div>

便益	評価範囲	<p>田原箇所          便益範囲: プレテスト結果より、利用が確認された5市2町をアンケート調査範囲に設定する。          人口: 181,062人          配布回収方法: 郵送          アンケート票数(全体)          配布数 1,400票          回収数 664票          (回収率47.4%)          有効回答数 554票          (有効回答率83.4%)</p> <div data-bbox="778 297 1375 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【水辺整備】田原箇所 TCM調査範囲</b></p>  <p style="text-align: center;"><b>対象市町（5市2町）</b>          岡山市東区（旧岡山市、旧瀬戸町）、備前市（旧備前市、旧日生町、旧吉永町）、瀬戸内市（旧長船町、旧邑久町）、赤磐市（旧熊山町、旧山陽町、旧吉井町）、和気町（旧和気町、旧佐伯町）、美作市（旧英田町）、美咲町（旧柵原町）</p> </div>
費用	建設費	231百万円
費用	維持管理費	24百万円
費用	総費用	256百万円
費用便益比(B/C)	17.2	
その他留意点等		

西大寺箇所(上流)の周辺には、生活拠点となる施設や観光・レジャーの拠点が集中しており、河川も街づくりの一部を担っています。

しかし、堤防天端は車の交通量が多く、歩道がありません。また、川に降りる坂路が少なく、高水敷、水辺は雑草が繁茂するなど、安全に水辺に近づいたり、利用することができません。



【現状】 ・河川管理用通路や坂路が近づくなく、安全に水辺を利用することができません。

【整備前】

整備箇所の状況

平成24年5月撮影



整備箇所近景

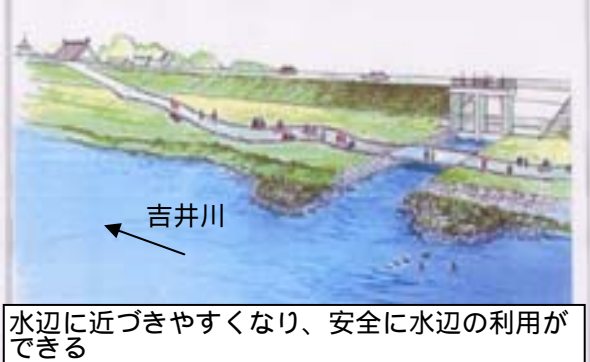
平成24年5月撮影



・堤防天端は交通量が多くなっており、河川管理用通路や坂路が近くはないなど、安全に水辺を利用することができません。

【整備後】

整備後の状況(イメージ)



・坂路、河川管理用通路の整備を行います。  
・水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができるようになります。

事業の効果

・坂路や河川管理用通路の整備により、河川管理の向上が図られます。  
・また河川管理用通路を利用することにより、散策など、安全に水辺の利用ができるようになります。

まず、別紙の【事業説明資料】をご覧ください、下記の質問にご回答下さい。

問1 あなたは、吉井川をご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. 名前は知っていた
4. まったく知らなかった

問2 あなたは、現在の「西大寺箇所(上流)」の水辺が、【事業説明資料】のように、“安全に水辺に近づきにくい”状況であることをご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. まったく知らなかった

## 「西大寺箇所(上流)」の利用について

問3 あなたは、現在「西大寺箇所(上流)」をどのくらい訪れていますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ねの回数おおむを記入して下さい。また、「西大寺箇所(上流)」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

1. 週                      2. 月                      3. 年  
4. 1年に1回未満(または行ったことがない)

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

4.を選択した方は、問5へ移動して下さい。

問4 どのような目的で「西大寺箇所(上流)」に行きましたか。

あてはまるものを全て選び、番号を で囲んでください(複数回答可)。

1. 散歩やジョギング                      2. ドライブ                      3. 釣りや水遊び  
4. カヌーなどの利用                      5. イベント                      6. スポーツ  
7. 自然観察、環境・体験学習等  
8. 通勤、通学、買い物などの通り道  
9. その他( )

問5 あなたは【事業説明資料】で示した整備が行われたとしたら、「西大寺箇所(上流)」に何回くらい訪れると思いますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ねの回数おおむを記入して下さい。また、「西大寺箇所(上流)」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

1. 週                      2. 月                      3. 年  
4. 1年に1回未満(または行くつもりがない)

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

問6 あなたのお宅から「西大寺箇所(上流)」に行くとした場合、どんな交通手段を利用しますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ねの時間おおむを記入して下さい。

1. 車                      2. バス                      3. 自転車                      4. 徒歩

で  分くらい

## あなた自身のことについてお伺いたします。

問7 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問8 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

問9 あなたの世帯で主な収入を得ておられる方のご職業をお答え下さい。

1. 農業                      2. 林業                      3. 会社員                      4. 公務員                      5. 自営業  
6. パート・アルバイト                      7. 学生                      8. 無職                      9. その他(       )

問10 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

## 自由意見

問11 最後に「西大寺箇所(上流)」の整備や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***



田原箇所周辺には、桜つつみ堤防、グラウンドが整備されており、日常から河川利用の盛んな場所となっています。また、田原箇所からは伝統行事である和文字焼きを観覧することができ、多くの人々が高水敷を利用しています。

しかし、雑草や雑木の繁茂、高水敷の不陸により、水際に近づく事ができず、安全に水辺を利用することができません。



【現状】・高水敷は、雑草や雑木が繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができません。

【整備前】

73

整備箇所の状況

平成24年5月撮影



整備箇所近景

平成24年5月撮影



・階段や坂路が近くになく、安全に水辺を利用することができません。

【整備後】

整備後の状況(イメージ)



水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができる

- ・護岸の整備や高水敷整正等を行います。
- ・水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができるようになります。

事業の効果 ・高水敷を整正し、護岸や階段の整備を行うことにより、安全に水辺の利用ができるようになります。

まず、別紙の【事業説明資料】をご覧ください、下記の質問にご回答下さい。

問1 あなたは、吉井川をご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. 名前は知っていた
4. まったく知らなかった

問2 あなたは、現在の「田原箇所」の水辺が、【事業説明資料】のように、“安全に水辺に近づきにくい”状況であることをご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. まったく知らなかった

## 「田原箇所」の利用について

問3 あなたは、現在「田原箇所」をどのくらい訪れていますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ねの回数を記入して下さい。また、「田原箇所」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- |                         |      |      |
|-------------------------|------|------|
| 1. 週                    | 2. 月 | 3. 年 |
| 4. 1年に1回未満(または行ったことがない) |      |      |

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

4.を選択した方は、問5へ移動して下さい。

問4 どのような目的で「田原箇所」に行きましたか。  
あてはまるものを全て選び、番号を で囲んでください(複数回答可)。

- |                    |         |           |
|--------------------|---------|-----------|
| 1. 散歩やジョギング        | 2. ドライブ | 3. 釣りや水遊び |
| 4. カヌーなどの利用        | 5. イベント | 6. スポーツ   |
| 7. 自然観察、環境・体験学習等   |         |           |
| 8. 通勤、通学、買い物などの通り道 |         |           |
| 9. その他( )          |         |           |

問5 あなたは【事業説明資料】で示した整備が行われたとしたら、「田原箇所」に何回くらい訪れると思いますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ねの回数を記入して下さい。また、「田原箇所」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- |                         |      |      |
|-------------------------|------|------|
| 1. 週                    | 2. 月 | 3. 年 |
| 4. 1年に1回未満(または行くつもりがない) |      |      |

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

問6 あなたのお宅から「田原箇所」に行くとした場合、どんな交通手段を利用しますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ねの時間を記入して下さい。

- |      |       |        |       |
|------|-------|--------|-------|
| 1. 車 | 2. バス | 3. 自転車 | 4. 徒歩 |
|------|-------|--------|-------|

で  分くらい

## あなた自身のことについてお伺いたします。

問7 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問8 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

問9 あなたの世帯で主な収入を得ておられる方のご職業をお答え下さい。

1. 農業                      2. 林業                      3. 会社員                      4. 公務員                      5. 自営業  
6. パート・アルバイト                      7. 学生                      8. 無職                      9. その他 (       )

問10 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

## 自由意見

問11 最後に「田原箇所」の整備や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***

吉井川総合水系環境整備事業 再評価 水辺整備(西大寺箇所(上流)、田原箇所)  
TCM本調査結果

1. アンケート集計数

	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
西大寺箇所(上流)	1400	671	47.9%	526	78.4%
田原箇所	1400	664	47.4%	554	83.4%

2. TCM算定結果

・西大寺箇所(上流)

ゾーン	利用頻度(回/年・人)		旅行費用
	整備前	整備後	
1	2.83	7.19	66
2	1.02	4.02	123
3	1.47	5.96	227
4	1.84	3.69	435

・田原箇所

ゾーン	利用頻度(回/年・人)		旅行費用
	整備前	整備後	
1	6.34	12.65	50
2	1.07	1.64	100
3	0.54	3.51	178
4	0.36	1.89	470

3. 便益・費用算定結果

年便益 (百万円)	B(百万円)	C(百万円)
242	4,389	256

・ Bは残存価値を加算した。

・ 年便益(西大寺箇所(上流)) = 整備後の消費者余剰 - 整備前の消費者余剰 = 240百万円 - 93百万円 = 147百万円

・ 年便益(田原箇所) = 整備後の消費者余剰 - 整備前の消費者余剰 = 139百万円 - 44百万円 = 95百万円

(フォローアップ)

## 吉井川総合水系環境整備事業

〔費用便益比(B/C)算定等資料〕

(フォローアップ)

吉井川総合水系環境整備事業  
(水系全体)

{費用便益比(B / C)算定等資料}

## 【概要】

水系・河川名	吉井川水系吉井川
事業名	吉井川総合水系環境整備事業
事業主体	岡山河川事務所
関係自治体	岡山市、瀬戸内市、赤磐市
事業期間	2000年度～2006年度(平成12年度～平成18年度)
基準(評価)年度	2012年度(平成24年度)

## 【費用】

	事業費	維持管理費	合計
単純合計(実質合計)	1,004百万円	313百万円	1,317百万円
基準年における現在価値合計(C)	1,501百万円	196百万円	1,697百万円

## 【便益】

	便益
供用年度	平成19年度
供用年度の単年度便益(実質価格)	176百万円
残存価値	29百万円
基準年における現在価値合計(B)	5,376百万円

## 【費用便益分析結果】

費用便益比(CBR)	3.2
純現在価値(NPV)	3,679百万円
経済的内部収益率(EIRR)	14.6%





## 【算出説明書】

事業概要	
事業目的	<p>《新地箇所》 新地箇所の整備前は、水際部において護岸が急勾配なため、水際部に近づくことができず、安全に水辺を利用することができない状況であった。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、水制、護岸、階段、坂路の整備を行った。</p> <p>《西大寺箇所(下流)》 西大寺箇所(下流)の整備前は、雑木や雑草の繁茂、高水敷の不陸により、上下流の高水敷が遮断され、高水敷の連続性が確保されておらず、上下流にそれぞれ整備されている河川公園も単一的な利用になっていた。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、河川管理用通路、坂路、階段を整備し、上下流の公園の連続性も確保した。</p> <p>《豆田箇所》 豆田箇所の整備前は、雑木や雑草の繁茂、高水敷の不陸により、水際部に近づくことができず、安全に水辺を利用することができない状況であった。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸、階段、坂路、河川管理用通路の整備を行った。</p> <p>《瀬戸箇所(下流)》 瀬戸箇所(下流)の整備前は、雑木の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができない状況であった。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、護岸の整備を行った。</p> <p>《熊山箇所》 熊山箇所の整備前は、雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができない状況であった。そこで、河川巡視など河川管理機能の向上と水辺利用者が安全に水辺空間を利用できるように、高水敷整正、階段、坂路、河川管理用通路の整備を行った。</p>

事業内容  
(事業箇所図)

新地箇所[H13～14年度]  
水制工、護岸、階段、坂路、高水敷整正

西大寺箇所(下流)[H18年度]  
河川管理用通路、坂路、階段、高水敷整正

豆田箇所[H13～15年度]  
(国)護岸、階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正  
(自)トイレ、遊具


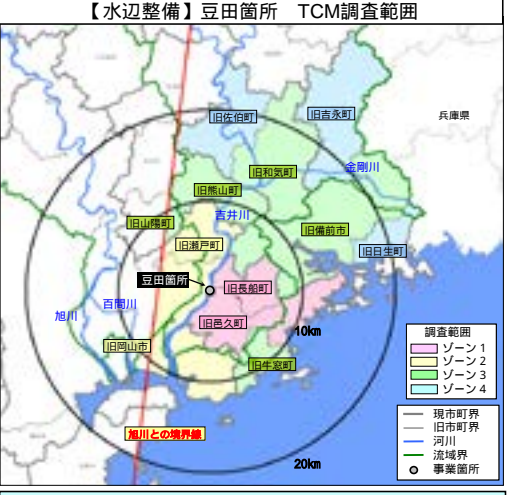
瀬戸箇所(下流)[H12～14年度]  
(国)護岸、高水敷整正  
(自)東屋、トイレ

熊山箇所[H16～17年度]  
階段、坂路、河川管理用通路、高水敷整正



## 【算出説明書】

## 費用便益比の算定根拠

便益	<p>評価手法</p> <p>水辺整備(新地箇所):TCM(平成24年6月にアンケート実施)          水辺整備(西大寺箇所(下流)):TCM(平成24年6月にアンケート実施)          水辺整備(豆田箇所):TCM(平成24年6月にアンケート実施)          水辺整備(瀬戸箇所(下流)):TCM(平成24年6月にアンケート実施)          水辺整備(熊山箇所):TCM(平成24年6月にアンケート実施)</p>
便益計測期間	H15～H68(各事業完了から50年)
総便益	<p>年便益額 = 176百万円          残存価値 = 29百万円  <b>総便益B = 単年度便益額 / (1+0.04)<sup>n</sup> + 残存価値額 = 5,376百万円</b></p>
評価範囲	<p>新地箇所・西大寺箇所(下流)          便益範囲:プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。          人口:162,181人          配布回収方法:          郵送          アンケート票数(全体)          配布数 1,400票          回収数 694票          (回収率49.6%)          有効回答数(新地箇所) 582票          (有効回答率83.9%)          有効回答数(西大寺箇所(下流)) 590票          (有効回答率85.0%)</p> <div data-bbox="853 667 1364 1265"> <p>【水辺整備】 新地箇所、西大寺箇所(下流) TCM調査範囲</p>  <p>対象市町(4市1町)          岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市)、          瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町)、          赤磐市(旧熊山町、旧山陽町)、和気町(旧和気町)</p> </div> <p>豆田箇所          便益範囲:プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。          人口:178,157人          配布回収方法:          郵送          アンケート票数          配布数 1,400票          回収数 665票          (回収率47.5%)          有効回答数 564票          (有効回答率84.8%)</p> <div data-bbox="853 1361 1364 1937"> <p>【水辺整備】豆田箇所 TCM調査範囲</p>  <p>対象市町(4市1町)          岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市、旧日生町、旧吉永町)、瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町)、          赤磐市(旧熊山町、旧山陽町)、和気町(旧和気町、旧佐伯町)</p> </div>

便益	評価範囲	<p>瀬戸箇所(下流)  便益範囲: プレテスト結果より、利用が確認された4市1町をアンケート調査範囲に設定する。  人口: 181,003人  配布回収方法: 郵送  アンケート票数  配布数 1,400票  回収数 657票  (回収率46.9%)  有効回答数 590票  (有効回答率89.8%)</p>	<p>【水辺整備】瀬戸箇所(下流) TCM調査範囲</p> <p>対象市町(4市1町)  岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市、旧日生町、旧吉永町)、瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町)、赤磐市(旧熊山町、旧山陽町、旧吉井町)、和気町(旧和気町、旧佐伯町)</p>
		<p>熊山箇所  便益範囲: プレテスト結果より、利用が確認された5市2町をアンケート調査範囲に設定する。  人口: 187,706人  配布回収方法: 郵送  アンケート票数  配布数 1,400票  回収数 663票  (回収率47.4%)  有効回答数 597票  (有効回答率90.0%)</p>	<p>【水辺整備】熊山箇所 TCM調査範囲</p> <p>対象市町(5市2町)  岡山市東区(旧岡山市、旧瀬戸町)、備前市(旧備前市、旧日生町、旧吉永町)、瀬戸内市(旧長船町、旧邑久町、旧牛窓町)、赤磐市(旧熊山町、旧山陽町、旧吉井町)、和気町(旧和気町、旧佐伯町)、美作市(旧英田町、美咲町(旧柵原町))</p>
費用	建設費	1501百万円	
	維持管理費	196百万円	
	総費用	1697百万円	
費用便益比(B/C)		3.2	
その他留意点等			

## 事業費の内訳書

## 河川環境整備事業

事業名	吉井川総合水系環境整備事業 (全体事業費)
-----	-----------------------

評価年度	H24	完了後の事後評価
------	-----	----------

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費(水辺整備)			式	1	660	
	本工事費		式	1	660	
		護岸	m	1,130	377	
		水制工	基	2	2	
		高水敷整正	m <sup>2</sup>	190,600	147	
		河川管理用通路	m	2,380	25	
		坂路	箇所	5	42	
		階段	箇所	15	67	
間接費等(水辺整備)			式	1	162	
事業費(水辺整備:総合水系環境整備事業分)			式	1	822	
事業費(水辺整備:自治体事業分)			式	1	182	
事業費(水辺整備) 計			式	1	1,004	
事業費 計			式	1	1,004	

維持管理費(水辺整備)			式	1	313	
維持管理費 計			式	1	313	

新地箇所は、高水敷及び水域でのスポーツやレクリエーション等の利用が盛んに行われています。また、砂浜では、吉井川フェスタ等、様々なイベントが実施されています。

しかし、水際部においては護岸が急勾配なため、水際に近づくことができず、安全に水辺を利用することができませんでした。



**【背景】** ・水際部においては護岸が急勾配なため、水際に近づくことができず、安全に水辺を利用することができませんでした。

## 【整備前】

整備前の状況



護岸が急勾配なため水際に近づきにくい

・水際部においては護岸が急勾配なため、水際に近づくことができず、安全に水辺を利用することができませんでした。

## 【整備後】

整備後の利用状況

平成24年5月撮影



水際に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができる

・水制、護岸、階段、坂路を整備しました。  
 ・水際に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができるようになりました。

整備後の状況

平成23年7月撮影



吉井川フェスタ

## 事業の効果

・水制、護岸、階段、坂路の整備を行うことにより、安全に水辺の利用ができるようになりました。  
 ・水制の整備により、砂浜が安定し、水際部を安全に利用できるようになりました。

西大寺箇所(下流)は、高水敷及び水域でのスポーツやレクリエーション等の利用が盛んに行われています。

しかし、雑木・雑草の繁茂、高水敷の不陸により上下流の高水敷が遮断され、高水敷の連続性が確保されておらず、上下流にそれぞれ整備されている河川公園も単一的な利用になっていました。



【背景】 ・上下流の公園の連続性が確保されておらず、上下流にそれぞれ整備されている河川公園も単一的な利用になっていました。

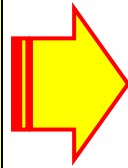
88 【整備前】

整備前の状況



雑草の繁茂により水辺に近づきにくい

・雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができませんでした。



【整備後】

整備後の状況

平成24年5月撮影



水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができる

・高水敷を整正し、河川管理用通路、坂路を整備しました。  
・水辺に近づきやすくなり、上下流の公園の連続性が確保されました。

整備後の利用状況

平成24年5月撮影



釣り利用状況

事業の効果 ・高水敷を整正し、河川管理用通路、坂路の整備を行うことにより、安全に水辺の利用ができるようになりました。  
・上下流の公園の連続性が確保され、水辺に近づきやすくなりました。



まず、別紙の【事業説明資料】をご覧ください、下記の質問にご回答下さい。

問1 あなたは、吉井川をご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. 名前は知っていた
4. まったく知らなかった

問2 あなたは、かつての「新地箇所」の水辺が、【事業説明資料】のように、“安全に水辺に近づきにくい”状況であったことをご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. まったく知らなかった

問3 あなたは、かつての「西大寺箇所(下流)」の水辺が、【事業説明資料】のように、“安全に水辺に近づきにくい”状況であったことをご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. まったく知らなかった

## 「新地箇所」、「西大寺箇所(下流)」の利用について

問4 あなたは、現在、「新地箇所」をどのくらい訪れていますか。枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分 には概ねの回数をおおむねを記入して下さい。また、「新地箇所」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- |                         |      |      |
|-------------------------|------|------|
| 1. 週                    | 2. 月 | 3. 年 |
| 4. 1年に1回未満(または行ったことがない) |      |      |

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

4.を選択した方は、問6へ移動して下さい。

問5 どのような目的で「新地箇所」に行きましたか。

あてはまるものを全て選び、番号を で囲んでください(複数回答可)。

- |                    |         |           |
|--------------------|---------|-----------|
| 1. 散歩やジョギング        | 2. ドライブ | 3. 釣りや水遊び |
| 4. カヌーなどの利用        | 5. イベント | 6. スポーツ   |
| 7. 自然観察、環境・体験学習等   |         |           |
| 8. 通勤、通学、買い物などの通り道 |         |           |
| 9. その他( )          |         |           |

問6 あなたは、現在、「西大寺箇所(下流)」をどのくらい訪れていますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分 には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。また、「西大寺箇所(下流)」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

1 . 週                      2 . 月                      3 . 年  
4 . 1 年に 1 回未満 (または行ったことがない)

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均 (      ) 人

4.を選択した方は、問8へ移動して下さい。

問7 どのような目的で「西大寺箇所(下流)」に行きましたか。  
あてはまるものを全て選び、番号を で囲んでください(複数回答可)。

- 1 . 散歩やジョギング                      2 . ドライブ                      3 . 釣りや水遊び
- 4 . カヌーなどの利用                      5 . イベント                      6 . スポーツ
- 7 . 自然観察、環境・体験学習等
- 8 . 通勤、通学、買い物などの通り道
- 9 . その他 (                                      )

問8 問4 や問6 で、「新地箇所」、「西大寺箇所(下流)」を訪れたと回答された方にお伺いします。両方の地区を、同日にどのくらい訪れていますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分 には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。

1 . 週                      2 . 月                      3 . 年  
4 . 1 年に 1 回未満 (または行ったことがない)

に  回くらい

問9 あなたは【事業説明資料】で示した整備が行われる前(平成14年以前)には、「新地箇所」の整備箇所に何回くらい訪れていましたか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分 には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。また、この場所を訪れたことがある場合、その時のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

1 . 週                      2 . 月                      3 . 年  
4 . 1 年に 1 回未満 (または行ったことがない)

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均 (      ) 人

問 10 あなたは【事業説明資料】で示した整備が行われる前(平成 18 年以前)には、「西大寺箇所(下流)」の整備箇所は何回ぐらい訪れていましたか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ねの回数おおむを記入して下さい。また、この場所を訪れたことがある場合、その時のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

1 . 週                  2 . 月                  3 . 年  
4 . 1 年に 1 回未満 (または行ったことがない)

に  回ぐらい  
ご自分以外の同行人数：平均 (      ) 人

問 11 あなたのお宅から「新地箇所」、「西大寺箇所(下流)」に行くとした場合、どんな交通手段を利用しますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ねの時間おおむを記入して下さい。

1 . 車                  2 . バス                  3 . 自転車                  4 . 徒歩

で  分ぐらい

## あなた自身のことについてお伺いたします。

問 12 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問 13 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

問 14 あなたの世帯で主な収入を得ておられる方のご職業をお答え下さい。

1. 農業                      2. 林業                      3. 会社員                      4. 公務員                      5. 自営業  
6. パート・アルバイト                      7. 学生                      8. 無職                      9. その他 (       )

問 15 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

## 自由意見

問 16 最後に「新地箇所」、「西大寺箇所(下流)」の整備や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***

豆田箇所は、高水敷及び水域でのスポーツやレクリエーション等の利用が盛んに行われています。

しかし、雑木や雑草の繁茂、高水敷の不陸により、水際に近づくことができず、安全に水辺を利用することができませんでした。



【背景】 ・雑木や雑草の繁茂、高水敷の不陸により、水際に近づくことができず、安全に水辺を利用することができませんでした。

94 【整備前】

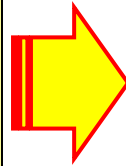
整備前の状況

平成15年11月撮影



雑木・雑草の繁茂、不陸により水際に近づきにくい

・雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができませんでした。



【整備後】

整備後の状況

平成24年5月撮影



水際に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができる

・護岸、階段、坂路、河川管理用通路を整備しました。  
・水際に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができるようになりました。

整備後の利用状況

平成24年5月撮影



事業の効果

・高水敷を整正し、護岸、階段、坂路、河川管理用通路の整備を行うことにより、安全に水辺の利用ができるようになりました。

まず、別紙の【事業説明資料】をご覧ください、下記の質問にご回答下さい。

問1 あなたは、吉井川をご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. 名前は知っていた
4. まったく知らなかった

問2 あなたは、かつての「豆田箇所」の水辺が、【事業説明資料】のように、“安全に水辺に近づきにくい”状況であったことをご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. まったく知らなかった

## 「豆田箇所」の利用について

問3 あなたは、現在、「豆田箇所」をどのくらい訪れていますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。また、「豆田箇所」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- 1 . 週                      2 . 月                      3 . 年  
4 . 1年に1回未満(または行ったことがない)

4.を選択した方は、問6へ移動して下さい。

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

問4 どのような目的で「豆田箇所」に行きましたか。

あてはまるものを全て選び、番号を で囲んでください(複数回答可)。

- 1 . 散歩やジョギング                      2 . ドライブ                      3 . 釣りや水遊び  
4 . カヌーなどの利用                      5 . イベント                      6 . スポーツ  
7 . 自然観察、環境・体験学習等  
8 . 通勤、通学、買い物などの通り道  
9 . その他( )

問5 あなたは【事業説明資料】で示した整備が行われる前(平成15年以前)には、「豆田箇所」の整備箇所は何回くらい訪れていましたか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。また、「豆田箇所」を訪れた場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- 1 . 週                      2 . 月                      3 . 年  
4 . 1年に1回未満(または行ったことがない)

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

問6 あなたのお宅から「豆田箇所」に行くとした場合、どんな交通手段を利用しますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の時間を記入して下さい。

- 1 . 車                      2 . バス                      3 . 自転車                      4 . 徒歩

で  分くらい



## あなた自身のことについてお伺いたします。

問7 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問8 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

問9 あなたの世帯で主な収入を得ておられる方のご職業をお答え下さい。

1. 農業                      2. 林業                      3. 会社員                      4. 公務員                      5. 自営業  
6. パート・アルバイト                      7. 学生                      8. 無職                      9. その他(       )

問10 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

## 自由意見

問11 最後に「豆田箇所」の整備や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***

瀬戸箇所(下流)は、坂根堰の湛水区域であり、高水敷及び水域でのスポーツやレクリエーション等に利用されています。

しかし、高水敷は雑草が繁茂しており、安全に利用することができませんでした。

なお、平成14年までに高水敷の整正、護岸整備を行い、平成17年に第60回国民体育大会(岡山大会)のカヌー競技が行われました。



【背景】・高水敷は雑草が繁茂しており、安全に利用することができませんでした。

【整備前】

整備前の状況

平成14年3月撮影



・雑草の繁茂、高水敷の不陸により安全に水辺を利用することができませんでした。

【整備後】

整備後の状況

平成24年5月撮影



・高水敷を整正し、護岸を整備しました。  
・水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができるようになりました。

整備後の利用状況

平成24年5月撮影



事業の効果

・高水敷を整正し、護岸を整備することにより、安全に水辺の利用ができるようになりました。  
・水辺に近づきやすくなり、スポーツやレクリエーションなどの利用が容易になりました。

まず、別紙の【事業説明資料】をご覧ください、下記の質問にご回答下さい。

問1 あなたは、吉井川をご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. 名前は知っていた
4. まったく知らなかった

問2 あなたは、かつての「瀬戸箇所(下流)」の水辺が、【事業説明資料】のように、“安全に水辺に近づきにくい”状況であったことをご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. まったく知らなかった

## 「瀬戸箇所(下流)」の利用について

問3 あなたは、現在、「瀬戸箇所(下流)」をどのくらい訪れていますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。また、「瀬戸箇所(下流)」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- 1 . 週                      2 . 月                      3 . 年  
4 . 1年に1回未満(または行ったことがない)

4.を選択した方は、問6へ移動して下さい。

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

問4 どのような目的で「瀬戸箇所(下流)」に行きましたか。

あてはまるものを全て選び、番号を で囲んでください(複数回答可)。

- 1 . 散歩やジョギング                      2 . ドライブ                      3 . 釣りや水遊び  
4 . カヌーなどの利用                      5 . イベント                      6 . スポーツ  
7 . 自然観察、環境・体験学習等  
8 . 通勤、通学、買い物などの通り道  
9 . その他( )

問5 あなたは【事業説明資料】で示した整備が行われる前(平成14年以前)には、「瀬戸箇所(下流)」の整備箇所に何回くらい訪れていましたか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。また、「瀬戸箇所(下流)」を訪れた場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- 1 . 週                      2 . 月                      3 . 年  
4 . 1年に1回未満(または行ったことがない)

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均( )人

問6 あなたのお宅から「瀬戸箇所(下流)」に行くとした場合、どんな交通手段を利用しますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の時間を記入して下さい。

- 1 . 車                      2 . バス                      3 . 自転車                      4 . 徒歩

で  分くらい

## あなた自身のことについてお伺いたします。

問7 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問8 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

問9 あなたの世帯で主な収入を得ておられる方のご職業をお答え下さい。

1. 農業                      2. 林業                      3. 会社員                      4. 公務員                      5. 自営業  
6. パート・アルバイト                      7. 学生                      8. 無職                      9. その他(       )

問10 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

## 自由意見

問11 最後に「瀬戸箇所(下流)」の整備や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***

熊山箇所は、環境学習の場や地域行事で数多く利用されていましたが、雑草の繁茂により、安全に利用することができませんでした。平成15年に、学校関係者、地域自治体、地域活動団体、河川管理者によって、「くまやま水辺の楽校推進協議会」が設立され、地域の意見を取り入れ「くまやま水辺の楽校」整備を行いました。



【背景】 ・雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができませんでした。

【整備前】

整備前の状況

平成16年6月撮影



雑草の繁茂により水辺に近づきにくい

・雑草の繁茂、高水敷の不陸により、安全に水辺を利用することができませんでした。

【整備後】

整備後の状況

平成24年5月撮影



水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができる

・高水敷を整正し、坂路、河川管理用通路を整備しました。  
 ・水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができるようになりました。  
 ・地元小学校の環境学習などに利用されています。

整備後の利用状況

平成24年5月撮影



環境学習利用

事業の効果

・高水敷を整正し、坂路、河川管理用通路の整備を行うことにより、安全に水辺の利用ができるようになりました。  
 ・地元小学校の環境学習などに利用されています。

まず、別紙の【事業説明資料】をご覧ください、下記の質問にご回答下さい。

問1 あなたは、吉井川をご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. 名前は知っていた
4. まったく知らなかった

問2 あなたは、かつての「熊山箇所」の水辺が、【事業説明資料】のように、“安全に水辺に近づきにくい”状況であったことをご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. まったく知らなかった

## 「熊山箇所」の利用について

問3 あなたは、現在、「熊山箇所」をどのくらい訪れていますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。また、「熊山箇所」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- |                         |      |      |
|-------------------------|------|------|
| 1. 週                    | 2. 月 | 3. 年 |
| 4. 1年に1回未満(または行ったことがない) |      |      |

4.を選択した方は、問6へ移動して下さい。

に  回くらい  
 ご自分以外の同行人数：平均( )人

問4 どのような目的で「熊山箇所」に行きましたか。

あてはまるものを全て選び、番号を で囲んでください(複数回答可)。

- |                    |         |           |
|--------------------|---------|-----------|
| 1. 散歩やジョギング        | 2. ドライブ | 3. 釣りや水遊び |
| 4. カヌーなどの利用        | 5. イベント | 6. スポーツ   |
| 7. 自然観察、環境・体験学習等   |         |           |
| 8. 通勤、通学、買い物などの通り道 |         |           |
| 9. その他( )          |         |           |

問5 あなたは【事業説明資料】で示した整備が行われる前(平成17年以前)には、「熊山箇所」の整備箇所<sup>おおむ</sup>に何回くらい訪れていましたか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の回数を記入して下さい。また、「熊山箇所」を訪れた場合のご自分以外の同行人数を記入して下さい。

- |                         |      |      |
|-------------------------|------|------|
| 1. 週                    | 2. 月 | 3. 年 |
| 4. 1年に1回未満(または行ったことがない) |      |      |

に  回くらい  
 ご自分以外の同行人数：平均( )人

問6 あなたのお宅から「熊山箇所」に行くとした場合、どんな交通手段を利用しますか。 枠のあてはまるものを一つ選び、番号を で囲んで下さい。下線部分  には概ね<sup>おおむ</sup>の時間を記入して下さい。

- |      |       |        |       |
|------|-------|--------|-------|
| 1. 車 | 2. バス | 3. 自転車 | 4. 徒歩 |
|------|-------|--------|-------|

で  分くらい



## あなた自身のことについてお伺いたします。

問7 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問8 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

問9 あなたの世帯で主な収入を得ておられる方のご職業をお答え下さい。

1. 農業                      2. 林業                      3. 会社員                      4. 公務員                      5. 自営業  
6. パート・アルバイト                      7. 学生                      8. 無職                      9. その他(       )

問10 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

## 自由意見

問11 最後に「熊山箇所」の整備や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***

吉井川総合水系環境整備事業 フォローアップ 水辺整備  
 (新地箇所、西大寺箇所(下流)、豆田箇所、瀬戸箇所(下流)、熊山箇所)  
 TCM本調査結果

1. アンケート集計数

	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
新地箇所	1400	694	49.6%	582	83.9%
西大寺箇所(下流)				590	85.0%
豆田箇所	1400	665	47.5%	564	84.8%
瀬戸箇所(下流)	1400	657	46.9%	590	89.8%
熊山箇所	1400	663	47.4%	597	90.0%

2. TCM算定結果

・新地箇所

ゾーン	利用頻度(回/年・人)		旅行費用
	整備前	整備後	
1	1.34	3.18	50
2	1.30	2.57	83
3	0.65	0.88	190
4	0.42	2.67	448

・西大寺箇所(下流)

ゾーン	利用頻度(回/年・人)		旅行費用
	整備前	整備後	
1	1.27	2.15	52
2	1.23	2.33	87
3	0.41	0.90	199
4	0.71	1.24	453

・豆田箇所

ゾーン	利用頻度(回/年・人)		旅行費用
	整備前	整備後	
1	3.43	4.95	52
2	1.02	4.08	120
3	0.35	1.78	190
4	0.89	1.70	458

・瀬戸箇所(下流)

ゾーン	利用頻度(回/年・人)		旅行費用
	整備前	整備後	
1	6.68	7.17	103
2	1.40	9.00	185
3	0.46	1.88	243
4	0.53	0.68	462

・熊山箇所

ゾーン	利用頻度(回/年・人)		旅行費用
	整備前	整備後	
1	3.66	11.82	24
2	1.78	2.97	107
3	1.28	1.46	176
4	0.12	0.29	477

3. 便益・費用算定結果

年便益 (百万円)	B(百万円)	C(百万円)
176	5,376	1,698

・ Bは残存価値を加算した。

- ・ 年便益(新地箇所) = 整備後の消費者余剰 - 整備前の消費者余剰 = 66百万円 - 22百万円 = 44百万円
- ・ 年便益(西大寺箇所(下流)) = 整備後の消費者余剰 - 整備前の消費者余剰 = 58百万円 - 30百万円 = 28百万円
- ・ 年便益(豆田箇所) = 整備後の消費者余剰 - 整備前の消費者余剰 = 50百万円 - 20百万円 = 30百万円
- ・ 年便益(瀬戸箇所(下流)) = 整備後の消費者余剰 - 整備前の消費者余剰 = 88百万円 - 36百万円 = 52百万円
- ・ 年便益(熊山箇所) = 整備後の消費者余剰 - 整備前の消費者余剰 = 44百万円 - 22百万円 = 23百万円

吉井川総合水系環境整備事業  
〔岡山県への意見照会と回答〕

国中整企画第40号  
国中整港計第7号  
平成24年8月31日

岡山県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成24年9月26日(水)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
吉井川直轄河川改修事業	継続	
吉井川総合水系環境整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 : 平成24年9月14日(金)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原

教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

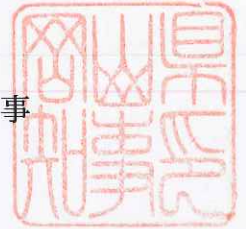
FAX:082-227-2651

技 第 1 9 5 号

平成 2 4 年 9 月 1 1 日

中国地方整備局長 様

岡山県知事

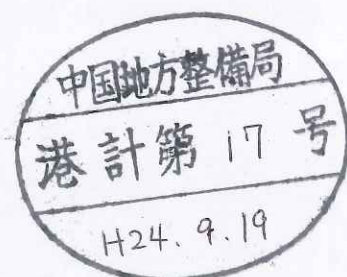


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に  
係る意見照会について（回答）

平成 2 4 年 8 月 3 1 日付け国中整企画第 4 0 号及び国中整港計第 7 号で照会のあった  
下記事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- ・ 吉井川直轄河川改修事業
- ・ 吉井川総合水系環境整備事業



## (別紙1)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	河川課
事業名	吉井川直轄河川改修事業 吉井川総合水系環境整備事業	
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	<input checked="" type="radio"/> 妥当である ・ <input type="radio"/> 妥当でない	
<p>(意見)</p> <p>吉井川直轄河川改修事業により、吉井川下流地域の洪水被害が軽減され、治水安全度の向上が期待される。河川整備計画を早期に策定し、さらなるコスト縮減を図るとともに、環境にも十分配慮しながら、早期完成に努めていただきたい。</p> <p>吉井川総合水系環境整備事業では、国の天然記念物であるアユモドキの生息・繁殖環境が改善されるとともに、日常から多くの住民に利用されている吉井川の安全な水辺利用が促進されるなど、環境および利用の両面において必要性が認められる。一層のコスト縮減を図るとともに、専門家、地域住民の意見を十分取り入れながら、早期完成に努めていただきたい。</p>		

※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。

※2 具体的な意見がある場合は、(意見)欄に記載して下さい。

特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、(意見)欄にその理由を必ず記載して下さい。

※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにして下さい。